

城陽市障がい福祉に関する 市民アンケート調査結果報告書

**平成 29 年 (2017 年) 7 月
城陽市**

目次

I. 調査の概要.....	1
1 調査目的	3
2 実施要領	3
3 回収状況	3
4 報告書の見方.....	3
5 調査結果の概要.....	4
II. 調査の結果.....	9
1 基本的事項	11
〔1〕 回答者	
〔2〕 性別	
〔3〕 年齢	
〔4〕 居住地域	
〔5〕 身体障害者手帳の等級	
〔6〕 主たる障がいの種類（身体）	
〔7〕 療育手帳の障がいの程度	
〔8〕 精神障害者保健福祉手帳の有無	
〔9〕 通院医療費助成（精神等）	
〔10〕 発達障がいや難病の認定	
2 医療や介護保険について.....	18
〔1〕 現在受けている医療ケア	
〔2〕 介護保険サービスの利用	
〔3〕 要介護度	
〔4〕 医療への希望（精神等）	
3 生活の状況について	21
〔1〕 主な収入源	
〔2〕 家族構成	
〔3〕 主な介助者	
〔4〕 家庭や家族のことで困っていること	
〔5〕 平日の居場所	
〔6〕 休日の居場所	
〔7〕 今後の生活場所の希望	
4 就労について.....	28
〔1〕 現在の就労状況	
〔2〕 就労形態	
〔3〕 仕事を見つけた方法	
〔4〕 仕事をする上での困りごと	
〔5〕 仕事や職場への希望	
〔6〕 働いていない理由	
〔7〕 今後の就労意向	
〔8〕 希望する雇用形態	

5	外出について.....	36
	〔1〕 主な外出手段	
	〔2〕 外出時に困ること	
6	余暇や地域活動について.....	38
	〔1〕 参加してみたい活動（身体）	
	〔2〕 地域活動参加状況	
	〔3〕 地域活動に参加できない理由	
7	サービス利用について.....	41
	〔1〕 自立支援給付サービスの利用状況と満足度	
	〔2〕 自立支援給付サービスで不満と感ずる内容	
	〔3〕 地域生活支援事業の利用状況と満足度	
	〔4〕 地域生活支援事業のサービスで不満と感ずる内容	
	〔5〕 必要なサービス	
	〔6〕 必要と感ずるサービスや支援	
	〔7〕 サービスを決定している人	
8	情報について.....	59
	〔1〕 情報の入手方法	
	〔2〕 充実すべき情報発信方法	
9	地域での暮らしや悩み・相談について.....	61
	〔1〕 近所との付き合いの程度	
	〔2〕 自治会長、民生委員・児童委員の認知	
	〔3〕 悩みや相談事	
	〔4〕 日常的な相談相手	
	〔5〕 現在の相談体制について	
10	災害時の避難等について.....	66
	〔1〕 一人での避難の可否	
	〔2〕 助けてくれる人の有無	
	〔3〕 災害時に困ること	
11	権利擁護等について.....	68
	〔1〕 成年後見制度の認知	
	〔2〕 成年後見制度の利用	
	〔3〕 成年後見制度について必要な情報	
	〔4〕 差別経験の有無	
	〔5〕 差別経験の内容	
	〔6〕 虐待経験の有無	
	〔7〕 虐待を受けた場所	
	〔8〕 虐待を受けた相手	
	〔9〕 虐待の内容	
12	城陽市の福祉の環境について.....	76
	〔1〕 今後重要な施策	
13	介助者について.....	77
	〔1〕 介助者の年齢	
	〔2〕 療育等での困りごと	
	〔3〕 介護での困りごと	
	〔4〕 介助者の健康状態	
	〔5〕 介助者に必要な支援	

I. 調査の概要

I. 調査の概要

1 調査目的

本調査は、平成 24 年（2012 年）3 月に策定した「城陽市障がい者計画」の計画年度が平成 24 年度（2012 年度）から平成 29 年度（2017 年度）までであることから、本市にお住まいの障害者手帳所持者や通院医療助成を受けている方を対象に、障がい福祉に関するご意見をおうかがいし、「城陽市障がい者計画」、「城陽市障がい福祉計画」の見直しの基礎資料とするために実施したものです。

2 実施要領

（1）調査地域

城陽市内全域

（2）調査対象及び標本抽出方法

市内在住の次の方から 2,000 人を無作為抽出

①身体障害者手帳所持者

②療育手帳所持者

③精神障害者保健福祉手帳所持者又は通院医療費助成を受けている方

（3）調査方法

郵送による配布・回収

（4）調査基準日

平成 28 年（2016 年）11 月 1 日

（5）調査時期

配布開始：平成 28 年（2016 年）11 月 26 日（土）

回収終了：平成 28 年（2016 年）12 月 16 日（金）

3 回収状況

調査対象	配布数	有効回収数	有効回収率
①身体障害者手帳所持者	1,400 件	854 件	61.0%
②療育手帳所持者	200 件	102 件	51.0%
③精神障害者保健福祉手帳所持者等	400 件	177 件	44.3%
計	2,000 件	1,133 件	56.7%

4 報告書の見方

- ・回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

I 調査の概要

- 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものを集計しています。
- 図表等の「N (NUMBER OF CASE)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 調査対象について、「身体障害者手帳所持者」を「身体」、「療育手帳所持者」を「療育」、「精神障害者保健福祉手帳所持者等」を「精神等」とそれぞれ略称しています。
- 設問ごとに、該当する調査対象及び設問番号を記載しています。

5 調査結果の概要

(1) 医療や介護保険について

現在受けている医療ケアについては、身体で「吸入」、「胃ろう・腸ろう」がそれぞれ最も多くなっています。一方、療育、精神等では回答はありませんでした。

介護保険サービスの利用については、「利用している」は身体が最も多く、療育、精神等ではそれぞれわずかとなっています。また、要介護度は、身体で「要支援2」が、精神等で「要支援2」、「要介護3」がそれぞれ最も多くなっています。

医療への希望（精神等）については、「急に具合が悪くなったときに、すぐ診てもらえる病院がほしい」が最も多くなっています。

(2) 生活の状況について

主な収入源については、身体で「自分の年金」が、療育、精神等で「家族の給料や年金」がそれぞれ最も多くなっています。

家族構成については、身体で「夫婦二人暮らし」が、療育、精神等で「自分と親」がそれぞれ最も多くなっています。また、主な介助者については、身体で「配偶者」が、療育、精神等で「親」がそれぞれ最も多くなっています。

家庭や家族のことで困っていることについては、身体、療育で「高齢者や障がい者だけの世帯である」が、精神等で「生活が困窮している」がそれぞれ最も多くなっています。

平日の居場所については、身体、精神等で「家族と過ごしている」が、療育では「仕事や通学をしている」がそれぞれ最も多くなっています。また、休日の居場所については、いずれの調査対象でも「家族と過ごしている」が最も多くなっています。

今後の生活場所の希望については、いずれの調査対象でも「家族と暮らしたい」が最も多くなっています。

(3) 就労について

現在の就労状況については、「働いている」は療育で最も多くなっています。就労形態については、身体、精神等で「事業所・企業・団体の非常勤職員（嘱託・パート・アルバイト）」が、療育で「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事をしている」がそれぞれ最も多くなっています。また、仕事を見つけた方法については、身体で「直接自分で探した」が、療育、精神等で「就労支援機関や公共職業安定所のあっせん」がそれぞれ最も多くなっています。また、仕事をする上での困りごとについては、いずれの調査対象でも「給料が少ない」が最も多くなっています。また、仕事や職場への希望については、いずれの調査対象でも「安定した収入」が最も多くなっています。

働いていない理由については、身体で「高齢のため」が、療育、精神等で「障がいや重度のため」がそれぞれ最も多くなっています。また、今後の就労意向については、「仕事をしたい」

は精神等で最も多くなっています。また、「仕事ができない」は身体で最も多くなっています。

希望する雇用形態については、身体で「特にない」が、療育で「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事をしたい」が、精神等で「事業所・企業・団体の正職員として働きたい」がそれぞれ最も多くなっています。

（４）外出について

主な外出手段については、身体、療育で「家族が運転する自動車」が、精神等で「徒歩や自転車」がそれぞれ最も多くなっています。

外出時に困ることについては、身体で「段差のある床や駐車場、トイレなど施設が利用しづらい」が、療育で「歩道がないなど道路が危険である」が、精神等で「付き添って出かけてくれる人がいない」がそれぞれ最も多くなっています。

（５）余暇や地域活動について

参加してみたい活動（身体）については、「パソコン教室」が最も多くなっています。

地域活動参加状況については、いずれの調査対象でも「十分している」と「まあまあしているほうだ」を合わせた『参加している』に比べて「あまりしているとはいえない」と「何もしていない」を合わせた『参加していない』が多くなっています。また、地域活動に参加できない理由については、いずれの調査対象でも「したいとは思わない」が最も多くなっています。

（６）サービス利用について

自立支援給付サービスの利用状況については、身体で「あなたの家をヘルパーなどが訪れて介護や家事援助をするサービス」が、療育、精神等で「あなたが日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス（デイサービスなど）」がそれぞれ最も多くなっています。また、自立支援給付サービスの満足度については、概ね「不満がある」に比べて「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』が多くなっています。一方、精神等の「短期入所（ショートステイ）」では、「不満がある」が多くなっています。

地域生活支援事業の利用状況については、身体で「日常生活用具の給付」が、療育で「日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと」が、精神等で「サービス事業所などでの相談」がそれぞれ最も多くなっています。また、地域生活支援事業の満足度については、いずれも「不満がある」に比べて「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』が多くなっています。

必要なサービスについては、身体で「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」が、療育で「短期入所（ショートステイ）」が、精神等で「リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス」がそれぞれ最も多くなっています。また、必要と感じるサービスや支援については、身体で「往診などの訪問看護」が、療育で「入院時のホームヘルプサービス」が、精神等で「サービスによる通勤・通学等の支援」がそれぞれ最も多くなっています。

サービスを決定している人については、身体、精神等で「自分」が、療育で「家族」がそれぞれ最も多くなっています。

（７）情報について

情報の入手方法については、いずれの調査対象でも「テレビや新聞」が最も多くなっています。

充実すべき情報発信方法については、いずれの調査対象でも「市の広報」が最も多くなっています。

(8) 地域での暮らしや悩み・相談について

近所との付き合いの程度については、いずれの調査対象でも「顔を合わせばあいさつする程度」が最も多くなっています。

自治会長、民生委員・児童委員の認知について、「知っている」は、いずれも身体で最も多くなっています。

悩みや相談事については、身体、精神等で「自分の健康や治療のこと」が、療育で「生活費などの経済的なこと」がそれぞれ最も多くなっています。また、日常的な相談相手については、いずれの調査対象でも「家族・親類」が最も多くなっています。

現在の相談体制については、身体で「満足している」が、療育で「専門的な相談員や窓口が不足している」が、精神等で「気軽に相談できる場や人がない」がそれぞれ最も多くなっています。

(9) 災害時の避難等について

一人での避難の可否については、身体、精神等で「できる」が、療育で「できない」が多くなっています。また、助けてくれる人の有無については、いずれの調査対象でも「わからない」が多くなっています。一方、精神等では「いない」が最も多くなっています。

災害時に困ることについては、身体、療育で「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が、精神等で「投薬や治療が受けられない」がそれぞれ最も多くなっています。

(10) 権利擁護等について

成年後見制度の認知については、いずれの調査対象でも「よく知っている」と「多少は知っている」を合わせた『知っている』に比べて「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「全く知らない、聞いたことがない」を合わせた『知らない』が多くなっています。また、成年後見制度の利用については、「ある」は、療育で最も多くなっています。成年後見制度について必要な情報については、いずれの調査対象でも「どんな場合に利用されているかなどの具体的な事例」が最も多くなっています。

差別経験の有無については、「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせた『感じる』は、療育で最も多くなっています。また、差別経験の内容については、身体、療育で「外出時（街角での人の視線や対応）」が、精神等で「就職・仕事」がそれぞれ最も多くなっています。

虐待経験の有無については、「ある」は精神等で最も多くなっています。また、虐待を受けた場所については、身体、精神等で「自宅」が、療育で「会社、学校や保育園」がそれぞれ最も多くなっています。虐待を受けた相手については、いずれの調査対象でも「家族」が最も多くなっています。また、虐待の内容については、身体、精神等で「心理的虐待（著しい暴言を受けた等）」が、療育で「身体的虐待（暴行を受けた等）」がそれぞれ最も多くなっています。

(11) 城陽市の福祉の環境について

今後重要な施策については、身体、精神等で「困った時に気軽に相談できる窓口をつくること」が、療育で「障がい者とごく当たり前に一緒に暮らす地域をつくること」、「地域で暮らせるようグループホームを充実させること」がそれぞれ最も多くなっています。

(12) 介助者について

介助者の年齢については、身体、精神等で「70歳代」が、療育では「50歳代」がそれぞ

れ最も多くなっています。

療育等での困りごとについては、身体で「子どもに合う放課後や夏休みの学童保育施設がない」が、療育で「小学生以上でも通える療育施設がない」、「子どもの発達や障がいについて気軽に相談できる窓口がない」がそれぞれ最も多くなっています。また、介護での困りごとについては、いずれの調査対象でも「自分が高齢化してきた」が最も多くなっています。

介助者の健康状態については、いずれの調査対象でも「疲れやすい」が最も多くなっています。また、介助者に必要な支援については、いずれの調査対象でも「本人の状態や病状が悪化した時の支援・緊急の支援」が最も多くなっています。

Ⅱ. 調査の結果

II. 調査の結果

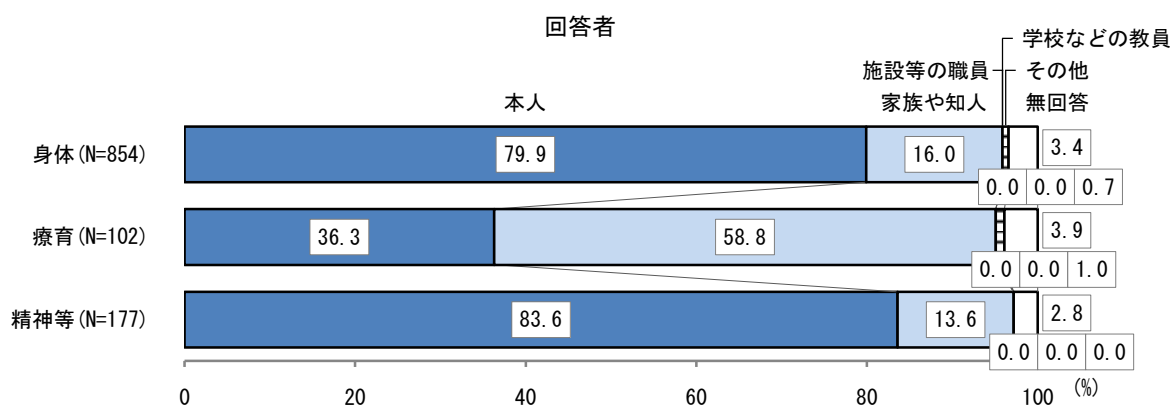
1 基本的事項

〔1〕 回答者

1 このアンケートにお答えいただいている方はどなたですか。

[身体：問 1，療育：問 1，精神等：問 1]

回答者については、身体、精神等では「本人」が約 8 割と多く、療育では「家族や知人」が約 6 割と多くなっています。

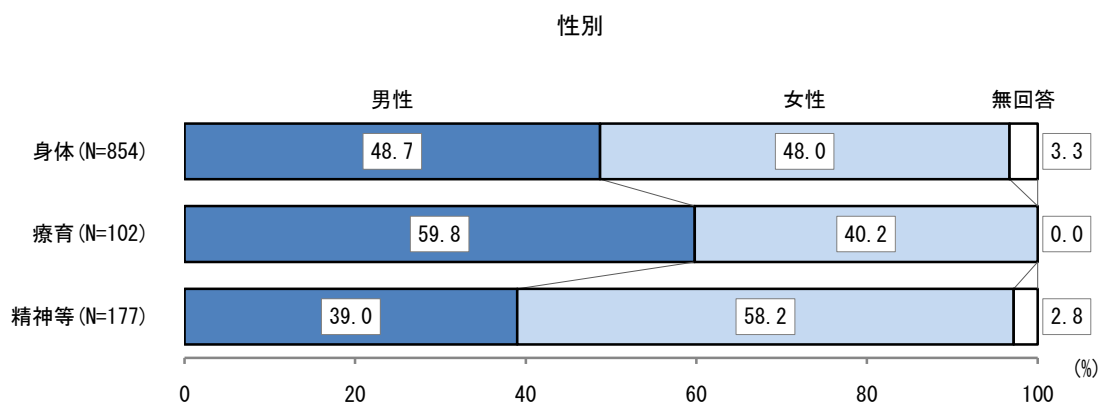


〔2〕 性別

2 あなたの性別は。

[身体：問 2，療育：問 2，精神等：問 2]

性別については、身体では男女がほぼ半々となっており、療育では男性が約 6 割と多く、精神等では女性が約 6 割と多くなっています。

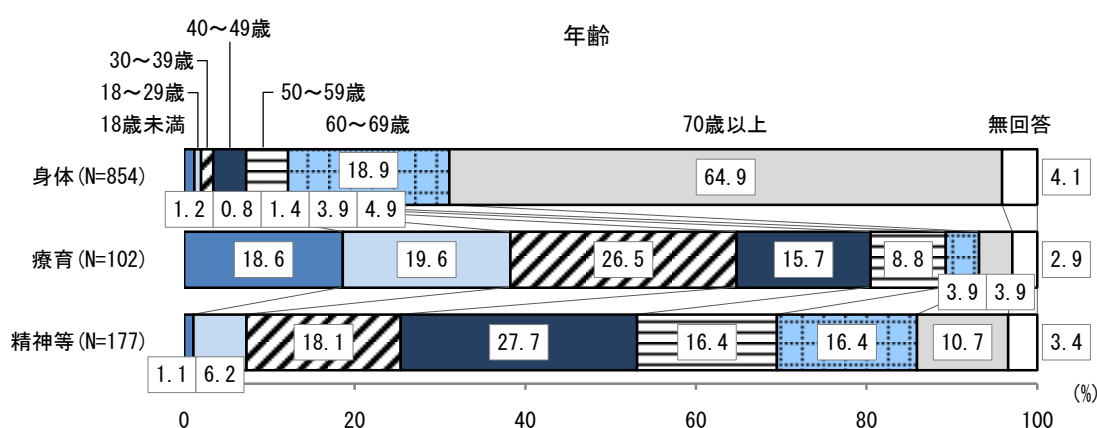


〔3〕 年齢

3 あなたは何歳ですか（平成28年（2016年）11月1日の年齢をお答えください）。

〔身体：問3，療育：問3，精神等：問3〕

年齢については、身体では「70歳以上」が64.9%と最も多く、次いで「60～69歳」が18.9%となっています。療育では「30～39歳」が26.5%と最も多く、次いで、「18～29歳」が19.6%となっています。精神等では「40～49歳」が27.7%と最も多く、次いで、「30～39歳」が18.1%となっています。

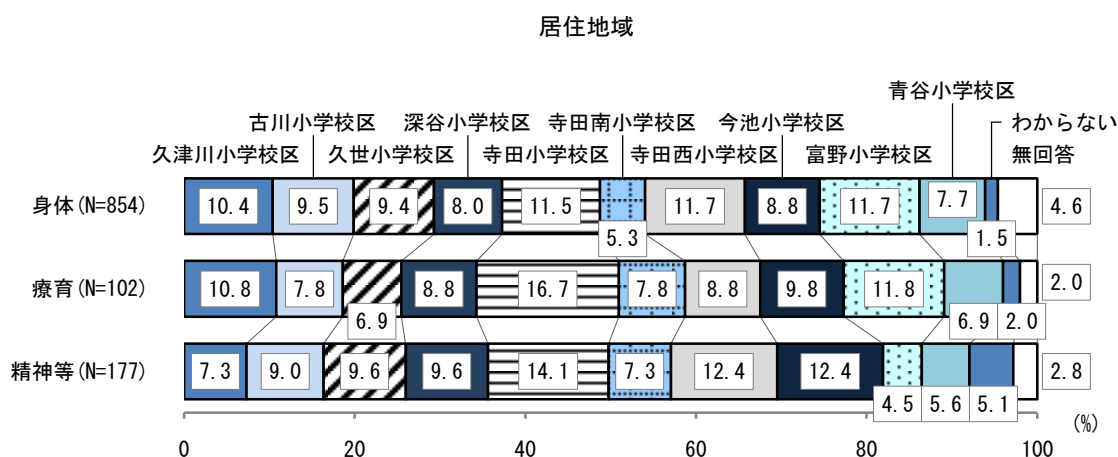


〔4〕 居住地

4 あなたのお住まいの小校区は次のうちどれですか。

〔身体：問4，療育：問4，精神等：問4〕

居住地については、身体では「寺田西小校区」、「富野小校区」がそれぞれ11.7%と最も多く、次いで、「寺田小校区」が11.5%となっています。療育では「寺田小校区」が16.7%と最も多く、次いで、「富野小校区」が11.8%となっています。精神等では「寺田小校区」が14.1%と最も多く、次いで、「寺田西小校区」、「今池小校区」がそれぞれ12.4%となっています。



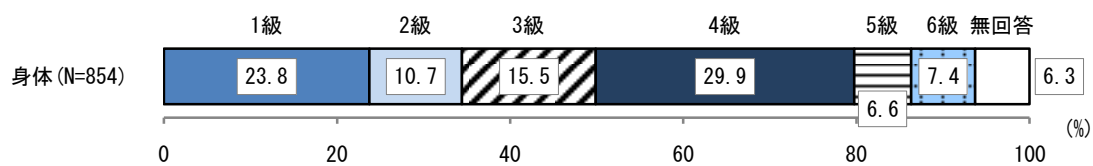
〔5〕 身体障害者手帳の等級

5 あなたの身体障害者手帳の等級は何級ですか。

[身体：問5]

身体障害者手帳の等級については、「4級」が29.9%と最も多く、次いで、「1級」が23.8%、「3級」が15.5%、「2級」が10.7%となっています。

身体障害者手帳の等級

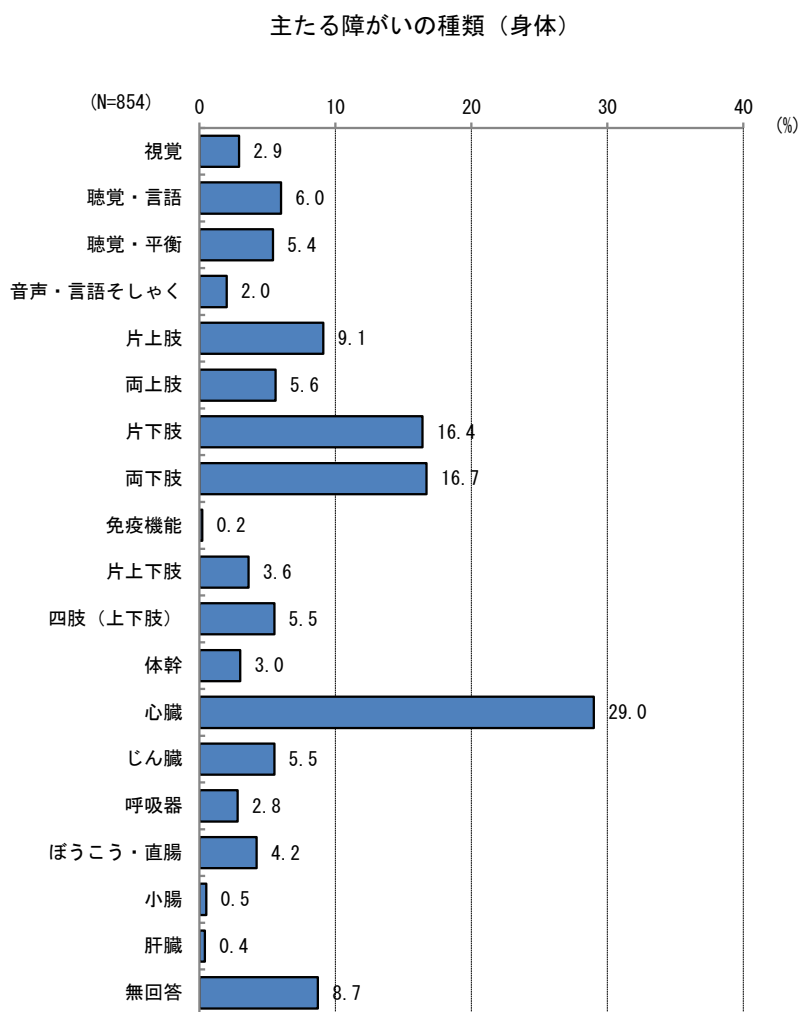


〔6〕主たる障がいの種類（身体）

6 手帳に示されているあなたの障がいの種類はどれですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問6]

主たる障がいの種類（身体）については、「心臓」が29.0%と最も多く、次いで、「両下肢」が16.7%、「片下肢」が16.4%、「片上肢」が9.1%となっています。

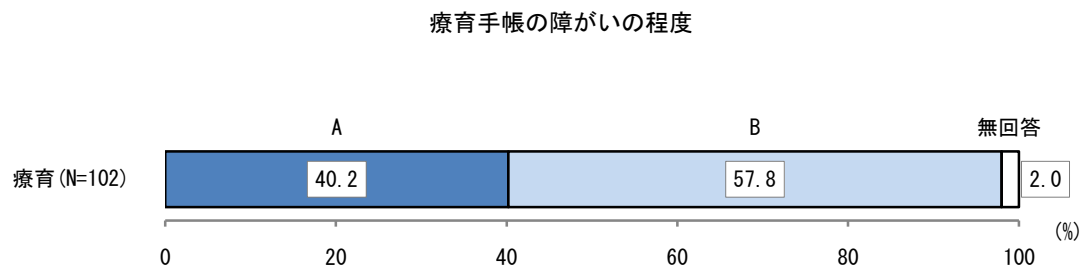


〔7〕療育手帳の障がいの程度

7 療育手帳であなたの障がいの程度はどれですか。

[療育：問5]

療育手帳の障がいの程度については、「A」が40.2%、「B」が57.8%となっています。



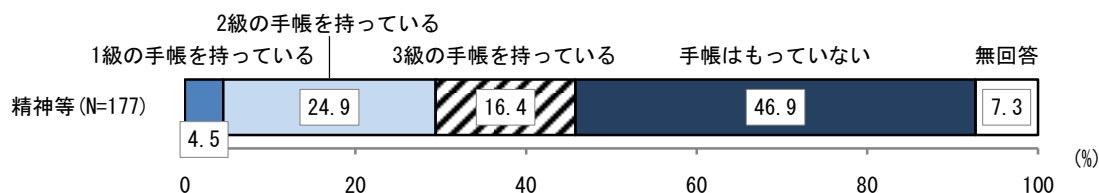
〔8〕精神障害者保健福祉手帳の有無

8 あなたは精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。

[精神等：問5]

精神障害者保健福祉手帳の有無については、「1級の手帳を持っている」が4.5%、「2級の手帳を持っている」が24.9%、「3級の手帳を持っている」が16.4%で、これらを合わせた『手帳を持っている』が45.8%、「手帳はもっていない」が46.9%となっています。

精神障害者保健福祉手帳の有無



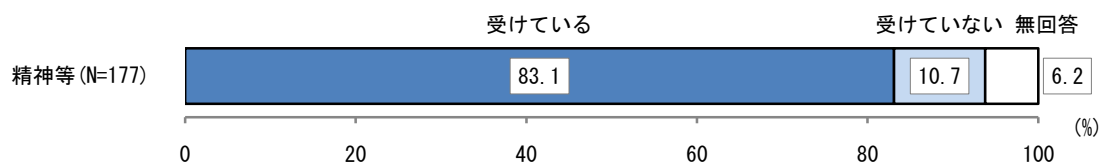
〔9〕通院医療費助成（精神等）

9 あなたは通院医療費助成を受けていますか。

[精神等：問6]

通院医療費助成（精神等）については、「受けている」が83.1%、「受けていない」が10.7%となっています。

通院医療費助成（精神等）



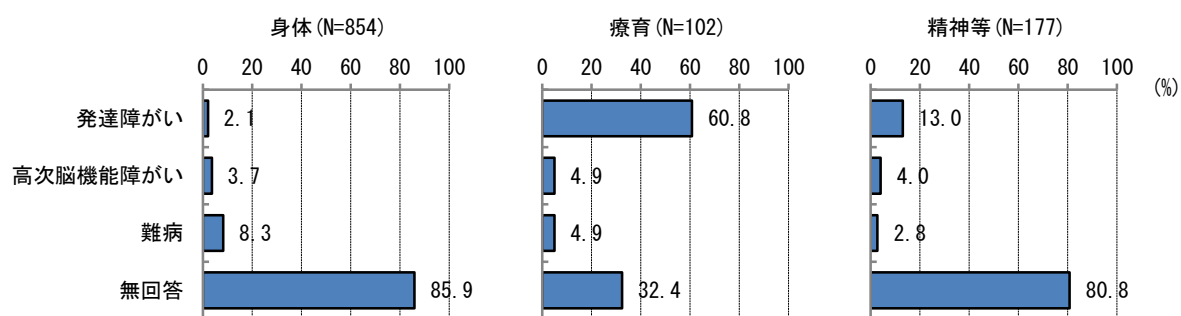
〔10〕 発達障がいや難病の認定

10 あなたは、以下の診断や認定を受けたことがありますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問7，療育：問6，精神等：問7]

発達障がいや難病の認定については、身体では「難病」が最も多く8.3%、療育、精神等では「発達障がい」が最も多く、それぞれ60.8%、13.0%となっています。

発達障がいや難病の認定



2 医療や介護保険について

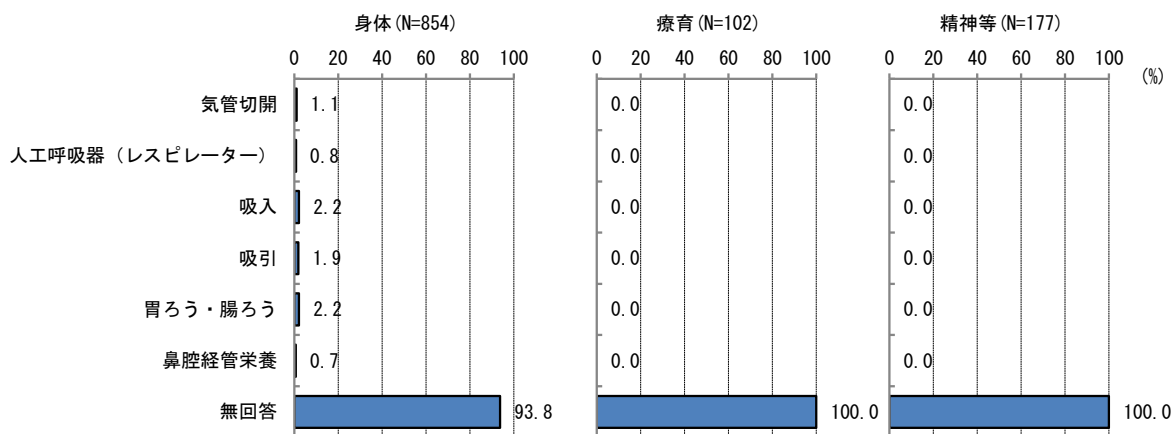
〔1〕現在受けている医療ケア

11 あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問8，療育：問7，精神等：問9]

現在受けている医療ケアについては、身体で「吸入」、「胃ろう・腸ろう」がそれぞれ2.2%と最も多く、次いで、「吸引」が1.9%となっています。一方、療育、精神等では回答はありませんでした。

現在受けている医療ケア



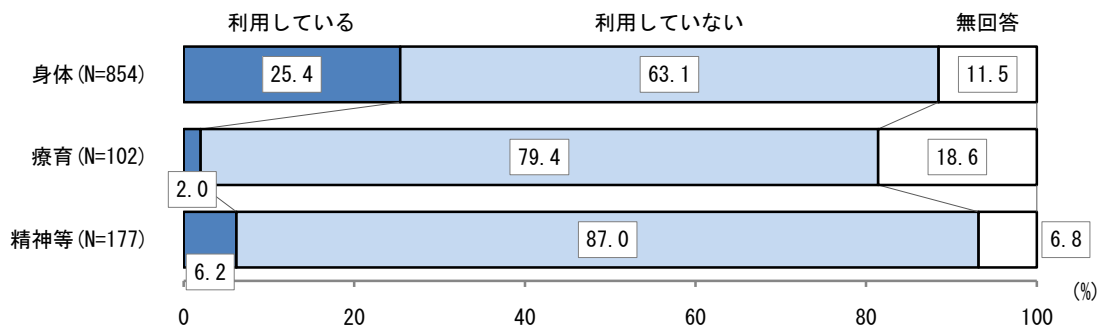
〔2〕 介護保険サービスの利用

12 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。

[身体：問9，療育：問8，精神等：問10]

介護保険サービスの利用については、「利用している」は身体で25.4%、療育で2.0%、精神等で6.2%となっています。

介護保険サービスの利用



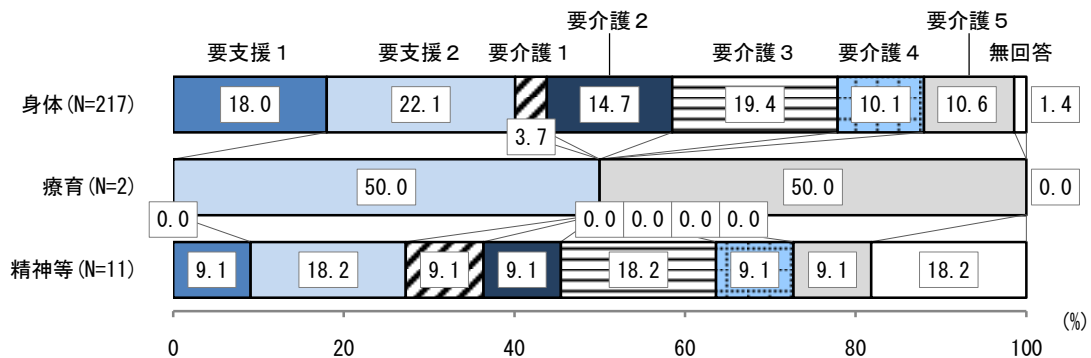
〔3〕 要介護度

12-1 12 で「利用している」を選択した方におたずねします。該当する要介護度はどれですか。

[身体：問9-1，療育：問8-1，精神等：問10-1]

要介護度については、身体では「要支援2」が22.1%と最も多く、次いで、「要介護3」が19.4%、「要支援1」が18.0%となっています。精神等では「要支援2」、「要介護3」がそれぞれ18.2%と最も多くなっています。療育では、回答はわずかとなっています。

要介護度

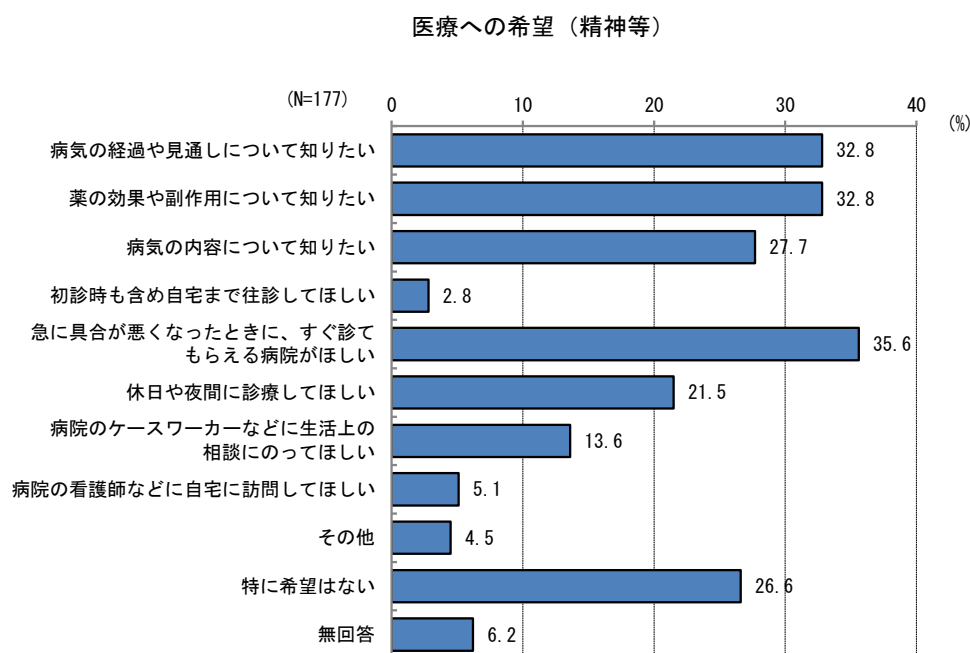


〔4〕医療への希望（精神等）

13 今後、医療で、どのようなことを希望しますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[精神等：問8]

医療への希望（精神等）については、「急に具合が悪くなったときに、すぐ診てもらえる病院がほしい」が35.6%と最も多く、次いで、「病気の経過や見通しについて知りたい」、「薬の効果や副作用について知りたい」がそれぞれ32.8%、「病気の内容について知りたい」が27.7%となっています。



3 生活の状況について

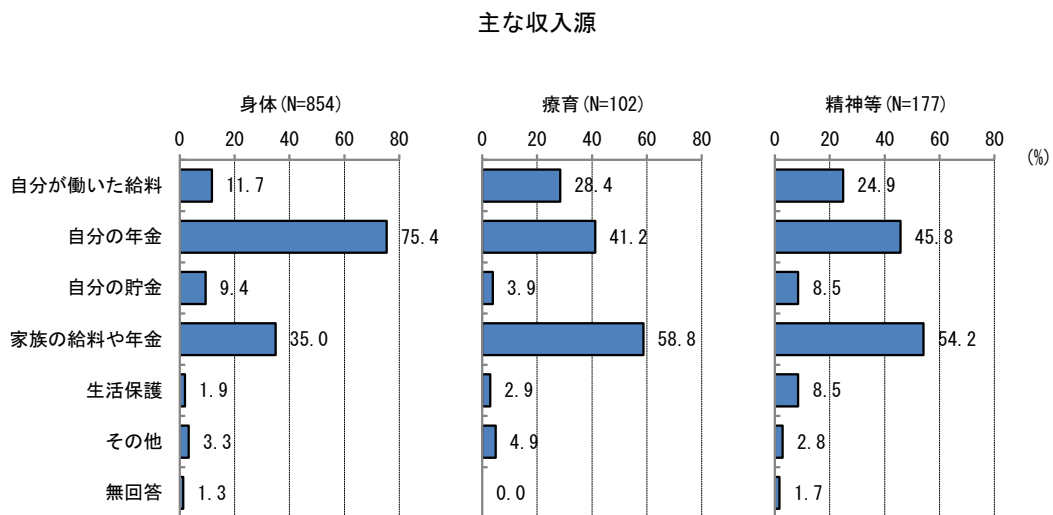
〔1〕主な収入源

14 あなたの世帯の主な収入源は何ですか。当てはまる番号に2つまで○をつけてください。

[身体：問10，療育：問9，精神等：問11]

主な収入源については、身体では「自分の年金」が75.4%と最も多く、次いで、「家族の給料や年金」が35.0%、「自分が働いた給料」が11.7%となっています。

療育、精神等では「家族の給料や年金」がそれぞれ58.8%、54.2%と最も多く、次いで、「自分の年金」がそれぞれ41.2%、45.8%、「自分が働いた給料」がそれぞれ28.4%、24.9%となっています。



〔2〕 家族構成

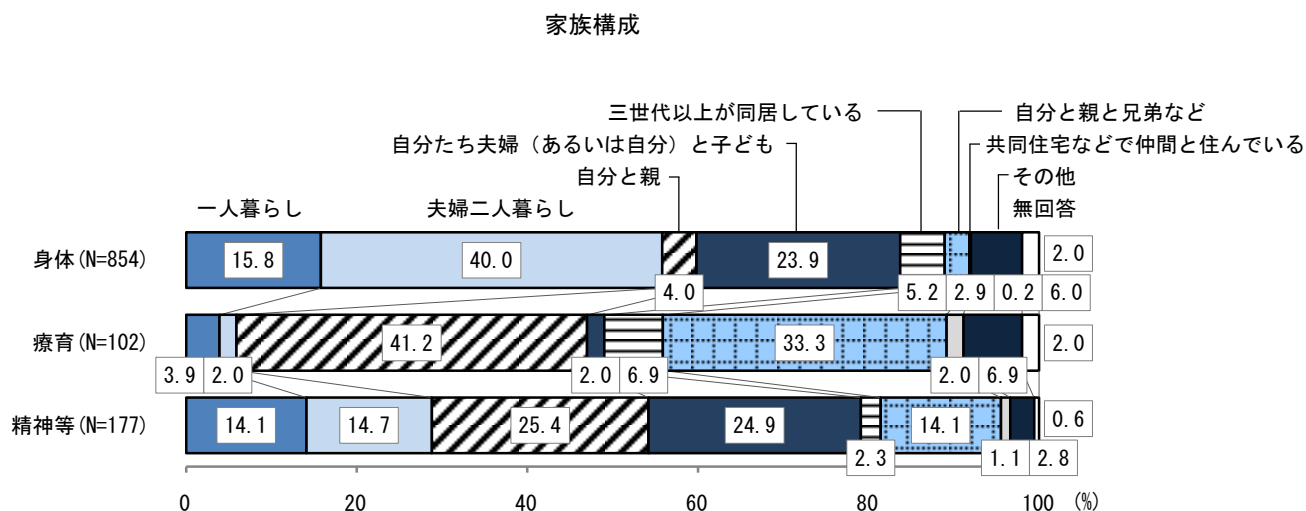
15 あなたの家族構成で当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 11，療育：問 10，精神等：問 12]

家族構成については、身体では「夫婦二人暮らし」が40.0%と最も多く、次いで、「自分たち夫婦（あるいは自分）と子ども」が23.9%、「一人暮らし」が15.8%となっています。

療育では「自分と親」が41.2%と最も多く、次いで、「自分と親と兄弟など」が33.3%となっています。

精神等では「自分と親」が25.4%と最も多く、次いで、「自分たち夫婦（あるいは自分）と子ども」が24.9%、「夫婦二人暮らし」が14.7%となっています。



〔3〕 主な介助者

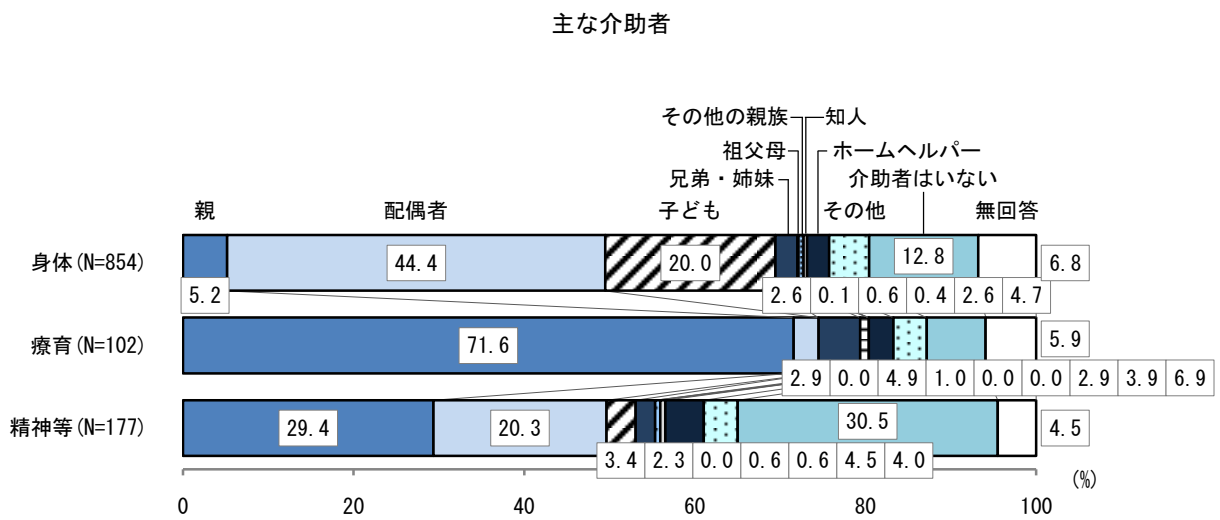
16 あなたの主な介助者は次のうち誰ですか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 12，療育：問 11，精神等：問 13]

主な介助者については、身体では「配偶者」が 44.4%と最も多く、次いで、「子ども」が 20.0%となっています。

療育は「親」が 71.6%と最も多く、次いで、「兄弟・姉妹」が 4.9%となっています。

精神等は「親」が 29.4%と最も多く、「配偶者」が 20.3%となっています。



〔4〕 家庭や家族のことで困っていること

17 あなたの家庭やあなた以外の家族のことで困っていることはありますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけて下さい。

[身体：問 13, 療育：問 12, 精神等：問 14]

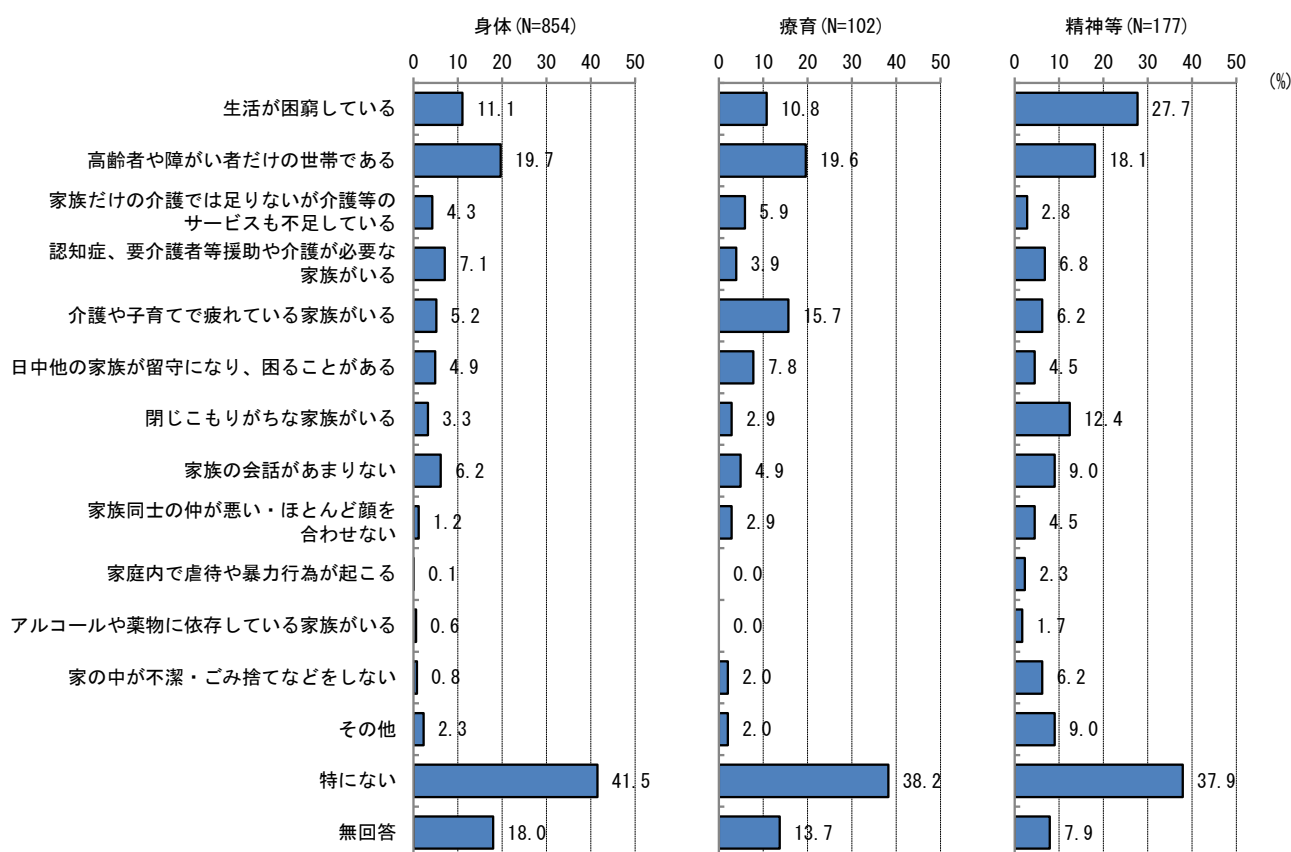
家庭や家族のことで困っていることについては、身体では「高齢者や障がい者だけの世帯である」が 19.7%と最も多く、次いで、「生活が困窮している」が 11.1%、「認知症、要介護者等援助や介護が必要な家族がいる」が 7.1%となっています。

療育では「高齢者や障がい者だけの世帯である」が 19.6%と最も多く、次いで、「介護や子育てで疲れている家族がいる」が 15.7%、「生活が困窮している」が 10.8%となっています。

精神等では「生活が困窮している」が 27.7%と最も多く、次いで、「高齢者や障がい者だけの世帯である」が 18.1%、「閉じこもりがち家族がいる」が 12.4%となっています。

一方、「特にない」は、いずれの調査対象でも約 4 割となっています。

家庭や家族のことで困っていること

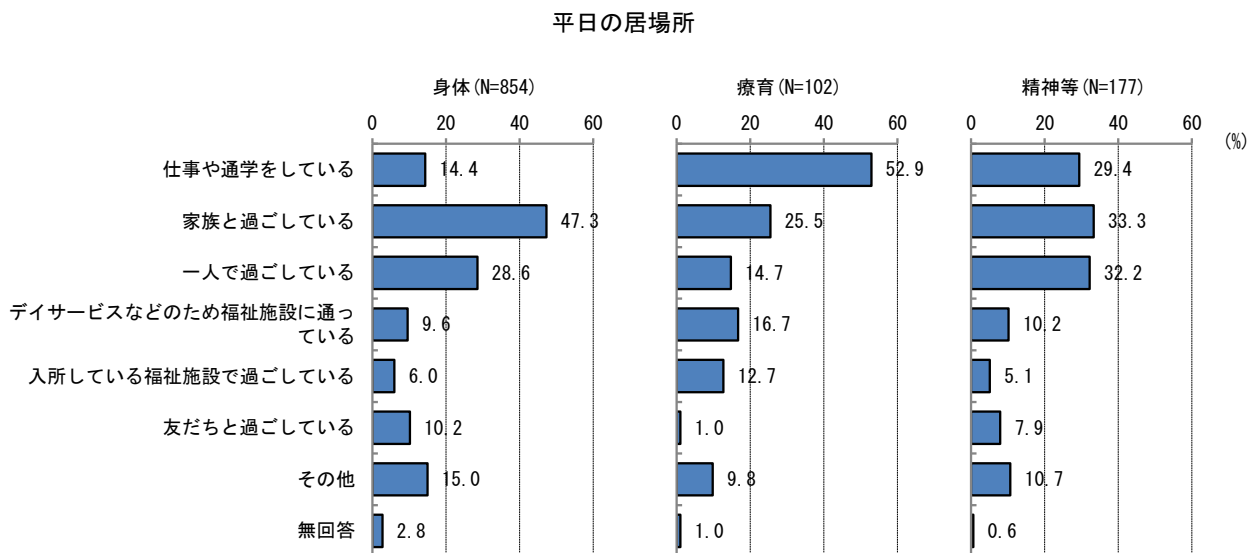


〔5〕 平日の居場所

18 あなたは平日の昼間、主にどのように過ごしていますか。当てはまる番号に2つまで○をつけてください。

[身体：問 14，療育：問 13，精神等：問 15]

平日の居場所については、身体では「家族と過ごしている」が47.3%と最も多く、次いで、「一人で過ごしている」が28.6%、「仕事や通学をしている」が14.4%となっています。
療育では「仕事や通学をしている」が52.9%と最も多く、次いで、「家族と過ごしている」が25.5%、「デイサービスなどのため福祉施設に通っている」が16.7%となっています。
精神等では「家族と過ごしている」が33.3%と最も多く、次いで、「一人で過ごしている」が32.2%、「仕事や通学をしている」が29.4%となっています。

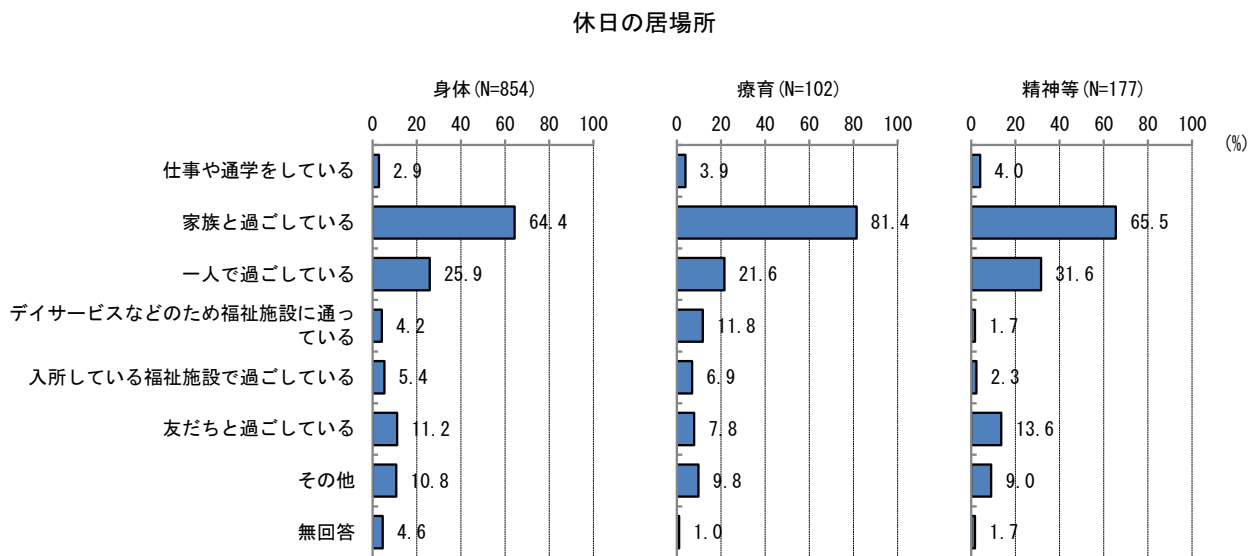


〔6〕 休日の居場所

19 あなたは休日、どのように過ごしていますか。当てはまる番号に2つまで○をつけてください。

[身体：問 15, 療育：問 14, 精神等：問 16]

休日の居場所については、いずれの調査対象でも「家族と過ごしている」が6割以上で最も多く、次いで、「一人で過ごしている」が2割以上となっています。次いで、身体、精神等では、「友だちと過ごしている」、療育では「デイサービスなどのため福祉施設に通っている」がそれぞれ1割以上となっています。



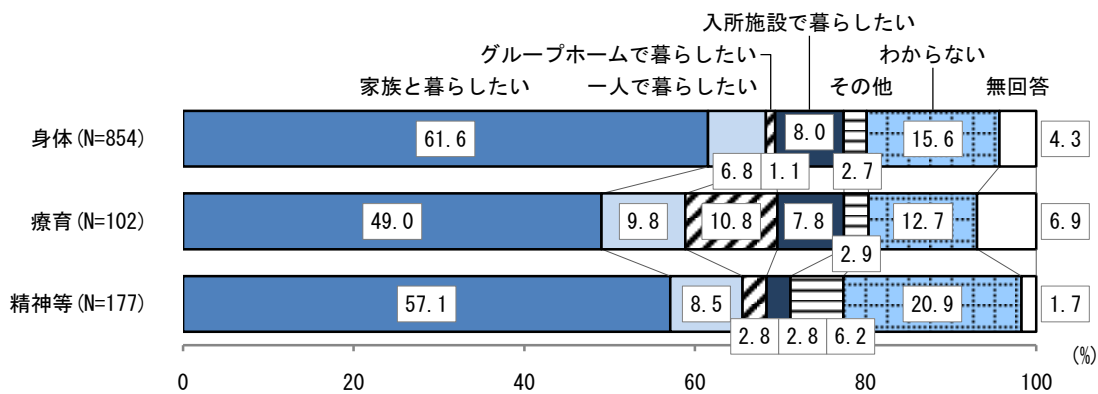
〔7〕 今後の生活場所の希望

20 あなたは今後、どこでの暮らしを希望していますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 16，療育：問 15，精神等：問 17]

今後の生活場所の希望については、いずれの調査対象でも「家族と暮らしたい」が最も多く、身体、精神等で約6割、療育で約5割となっています。次いで、身体では「入所施設で暮らしたい」が8.0%、療育では「グループホームで暮らしたい」が10.8%、精神等では「一人で暮らしたい」が8.5%となっています。

今後の生活場所の希望



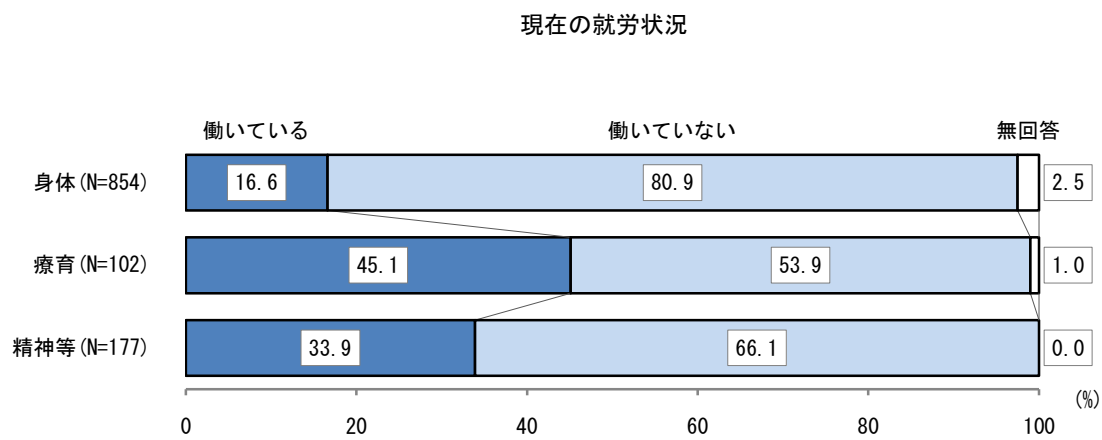
4 就労について

〔1〕現在の就労状況

21 現在働いていますか。

[身体：問 17，療育：問 16，精神等：問 18]

現在の就労状況については、「働いている」は療育で 45.1%と最も多く、次いで、精神等で 33.9%、身体で 16.6%となっています。



〔2〕 就労形態

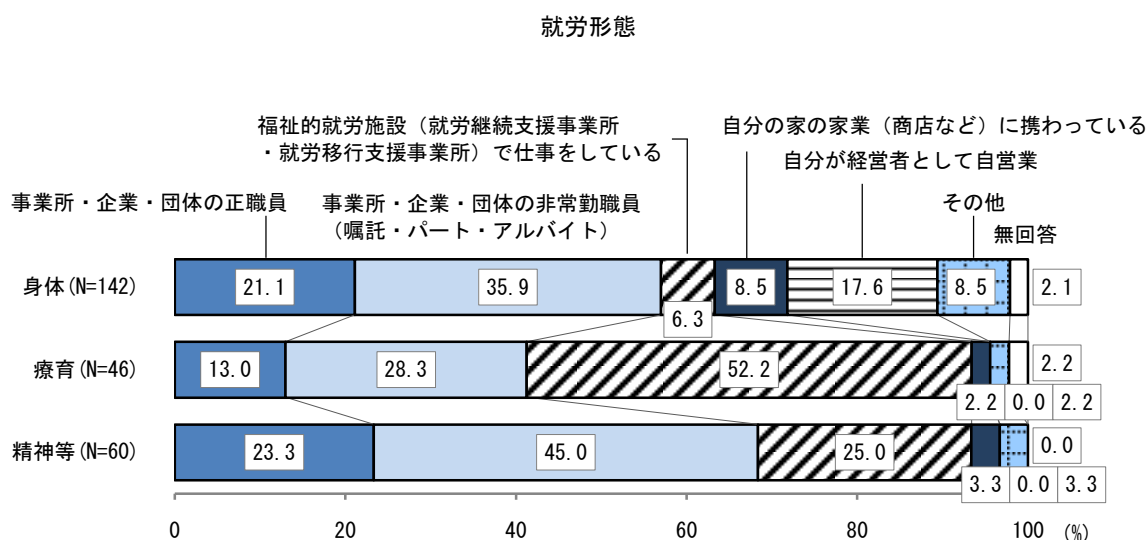
22 現在働いている方におたずねします。お仕事について当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 18，療育：問 17，精神等：問 19]

就労形態については、身体では「事業所・企業・団体の非常勤職員（嘱託・パート・アルバイト）」が35.9%と最も多く、次いで、「事業所・企業・団体の正職員」が21.1%、「自分が経営者として自営業」が17.6%となっています。

療育では「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事をしている」が52.2%と最も多く、次いで、「事業所・企業・団体の非常勤職員（嘱託・パート・アルバイト）」が28.3%、「事業所・企業・団体の正職員」が13.0%となっています。

精神等では「事業所・企業・団体の非常勤職員（嘱託・パート・アルバイト）」が45.0%と最も多く、次いで、「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事をしている」が25.0%、「事業所・企業・団体の正職員」が23.3%となっています。



〔3〕 仕事を見つけた方法

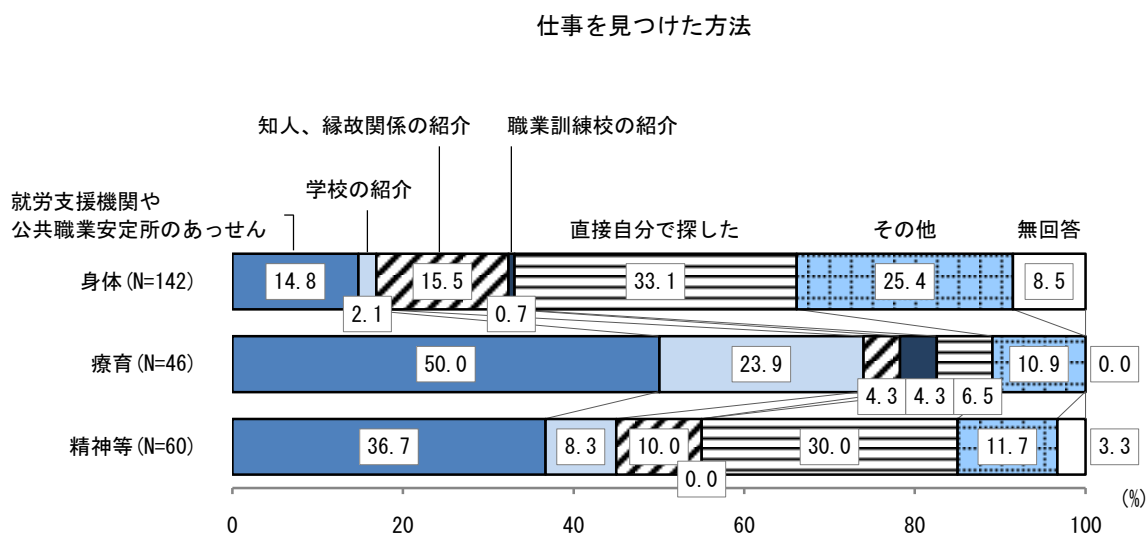
23 現在働いている方におたずねします。現在の仕事をどのようにして見つけましたか。当
てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 19，療育：問 18，精神等：問 20]

仕事を見つけた方法については、身体では「直接自分で探した」が33.1%と最も多く、次
いで、「知人、縁故関係の紹介」が15.5%、「就労支援機関や公共職業安定所のあっせん」が
14.8%となっています。

療育では「就労支援機関や公共職業安定所のあっせん」が50.0%と最も多く、次いで、「学
校の紹介」が23.9%、「直接自分で探した」が6.5%となっています。

精神等では「就労支援機関や公共職業安定所のあっせん」が36.7%と最も多く、次いで、
「直接自分で探した」が30.0%、「知人、縁故関係の紹介」が10.0%となっています。



〔4〕仕事をする上での困りごと

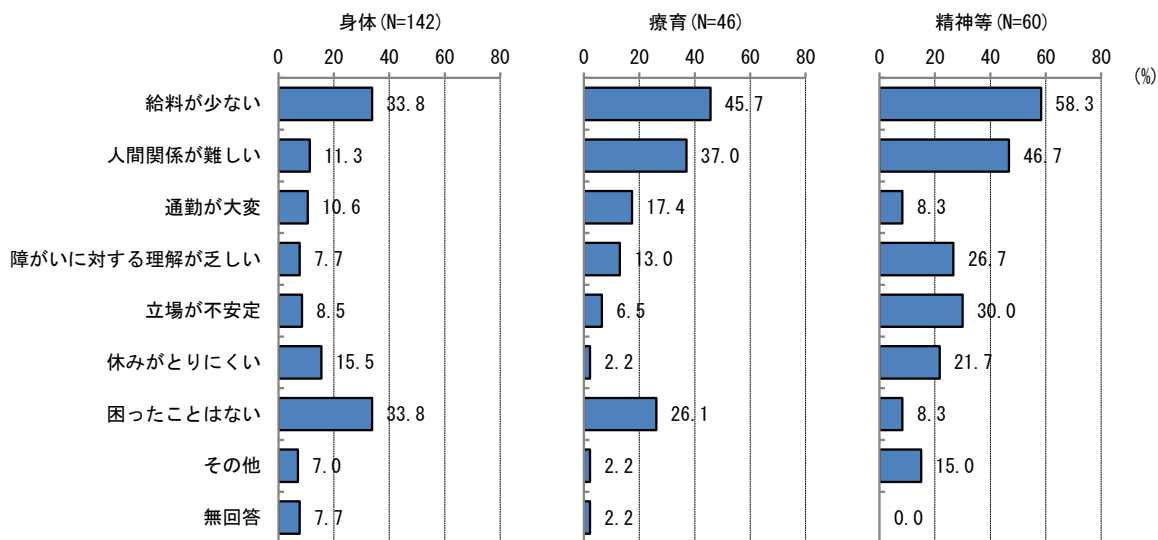
24 現在働いている方におたずねします。仕事をする上での困りごとは何ですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 20，療育：問 19，精神等：問 21]

仕事をする上での困りごとについては、いずれの調査対象でも「給料が少ない」が最も多くなっています。次いで、身体では「休みがとりにくい」が 15.5%、「人間関係が難しい」が 11.3%、療育では「人間関係が難しい」が 37.0%、「通勤が大変」が 17.4%、精神等では「人間関係が難しい」が 46.7%、「立場が不安定」が 30.0%となっています。

一方、「困ったことはない」は身体の 33.8%、療育の 26.1%に対し、精神等では 8.3%と少なくなっています。

仕事をする上での困りごと



〔5〕 仕事や職場への希望

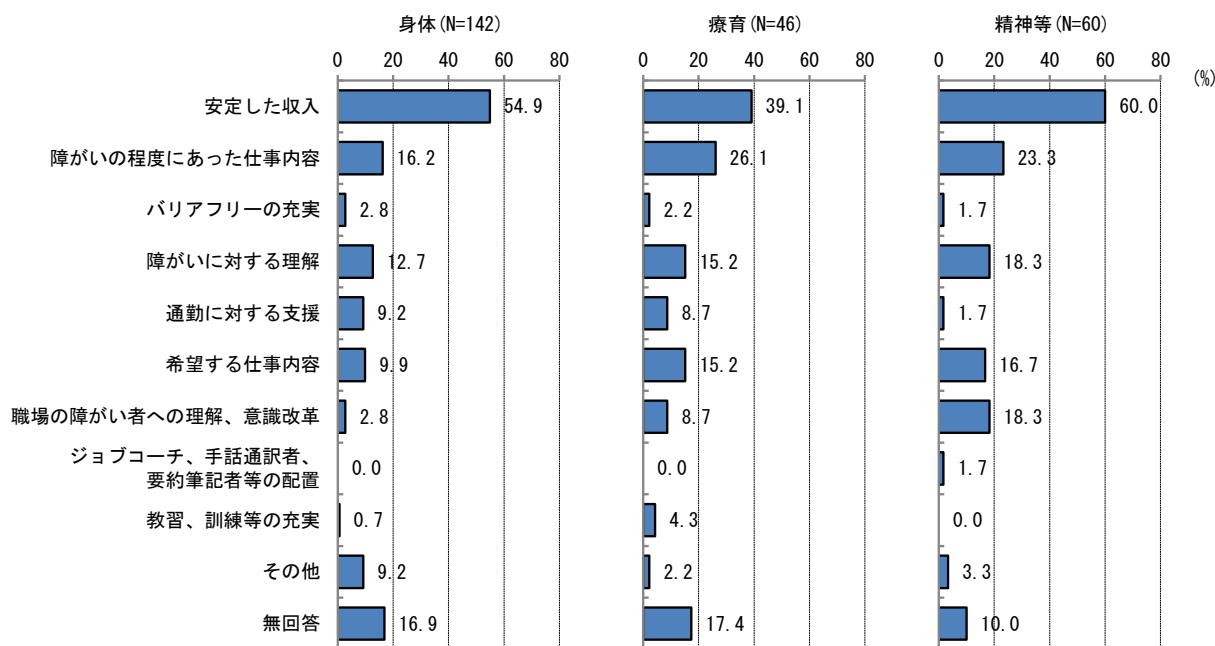
25 現在働いている方におたずねします。現在の仕事や職場に関して、どのような環境が整えば、より働きやすいと思いますか。特に当てはまる番号に2つまで○をつけてください。

[身体：問 21，療育：問 20，精神等：問 22]

仕事や職場への希望については、いずれの調査対象でも「安定した収入」が最も多く、次いで、「障がいの程度にあった仕事内容」となっています。

次いで、身体では「障がいに対する理解」が12.7%、「希望する仕事内容」が9.9%、療育では「障がいに対する理解」、「希望する仕事内容」がそれぞれ15.2%、精神等では「障がいに対する理解」、「職場の障がい者への理解、意識改革」がそれぞれ18.3%となっています。

仕事や職場への希望



〔6〕働いていない理由

26 現在働いていない方におたずねします。働いていない理由は何ですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。（ご本人が18歳未満の場合は回答不要です）

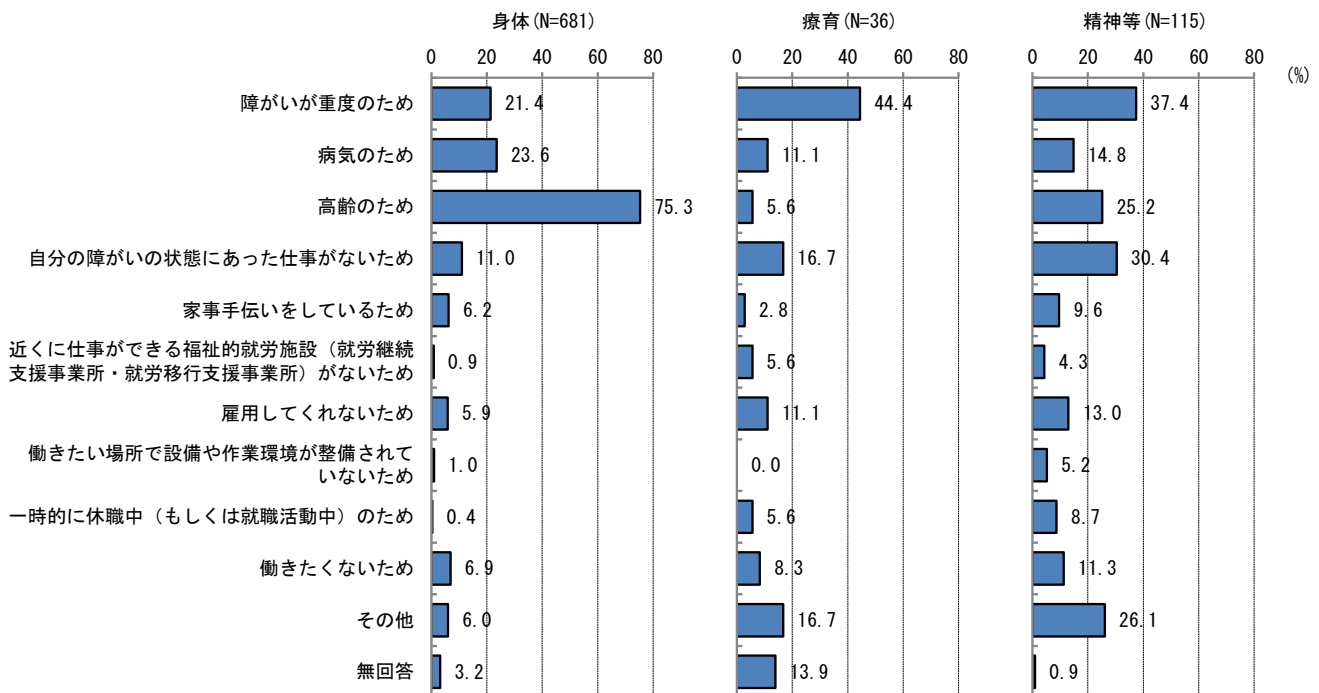
[身体：問22，療育：問21，精神等：問23]

働いていない理由については、身体では「高齢のため」が75.3%と最も多く、次いで、「病気のため」が23.6%、「障がいが重度のため」が21.4%となっています。

療育では「障がいが重度のため」が44.4%と最も多く、次いで、「自分の障がいの状態にあった仕事がないため」が16.7%、「病気のため」、「雇用してくれないため」がそれぞれ11.1%となっています。

精神等では「障がいが重度のため」が37.4%と最も多く、次いで、「自分の障がいの状態にあった仕事がないため」が30.4%、「高齢のため」が25.2%となっています。

働いていない理由



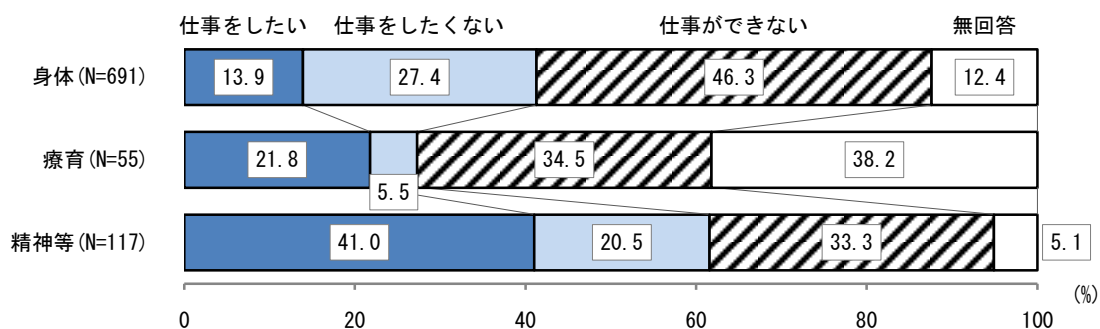
〔7〕 今後の就労意向

27 現在働いていない方におたずねします。あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思えますか。

[身体：問 23，療育：問 22，精神等：問 24]

今後の就労意向については、「仕事をしたい」は精神等で 41.0%と最も多く、次いで、療育で 21.8%、身体で 13.9%となっています。一方、「仕事ができない」は身体で 46.3%と最も多く、次いで、療育で 34.5%、精神等で 33.3%となっています。

今後の就労意向



〔8〕希望する雇用形態

28 あなたは今後どのように働きたいですか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

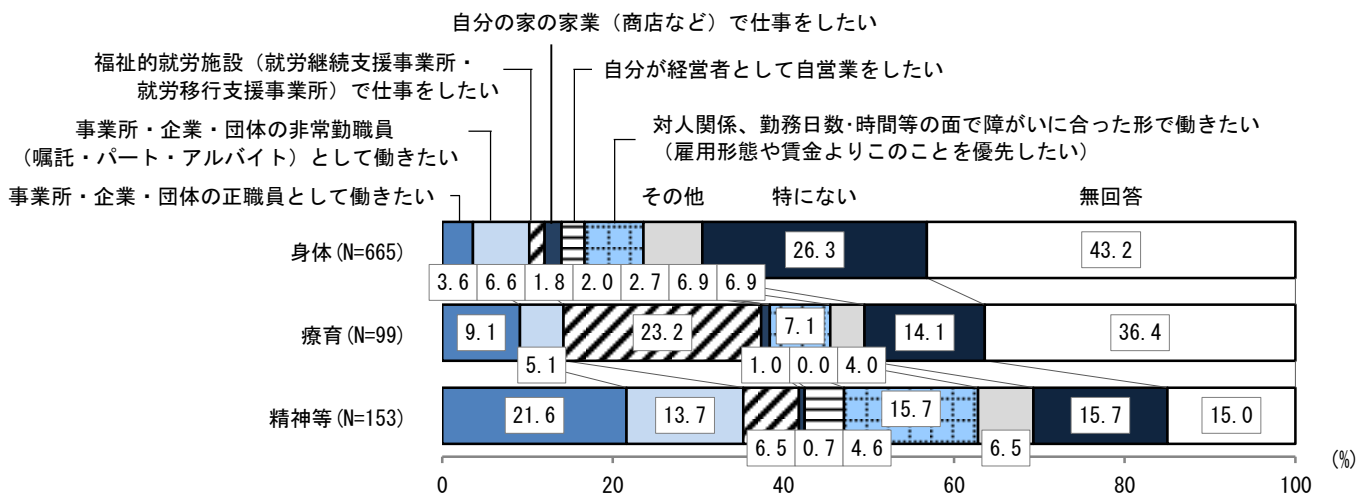
[身体：問 24，療育：問 23，精神等：問 25]

希望する雇用形態については、身体では「特にない」が26.3%と最も多く、次いで、「対人関係、勤務日数・時間等の面で障がいにあった形で働きたい（雇用形態や賃金よりこのことを優先したい）」が6.9%、「事業所・企業・団体の非常勤職員（嘱託・パート・アルバイト）として働きたい」が6.6%となっています。

療育では「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事をしたい」が23.2%と最も多く、次いで、「特にない」が14.1%、「事業所・企業・団体の正職員として働きたい」が9.1%となっています。

精神等では「事業所・企業・団体の正職員として働きたい」が21.6%と最も多く、次いで、「対人関係、勤務日数・時間等の面で障がいにあった形で働きたい（雇用形態や賃金よりこのことを優先したい）」、「特にない」がそれぞれ15.7%となっています。

希望する雇用形態



5 外出について

〔1〕主な外出手段

29 あなたが外出する際の主な手段は何ですか。特に当てはまる番号に2つまで○をつけてください。

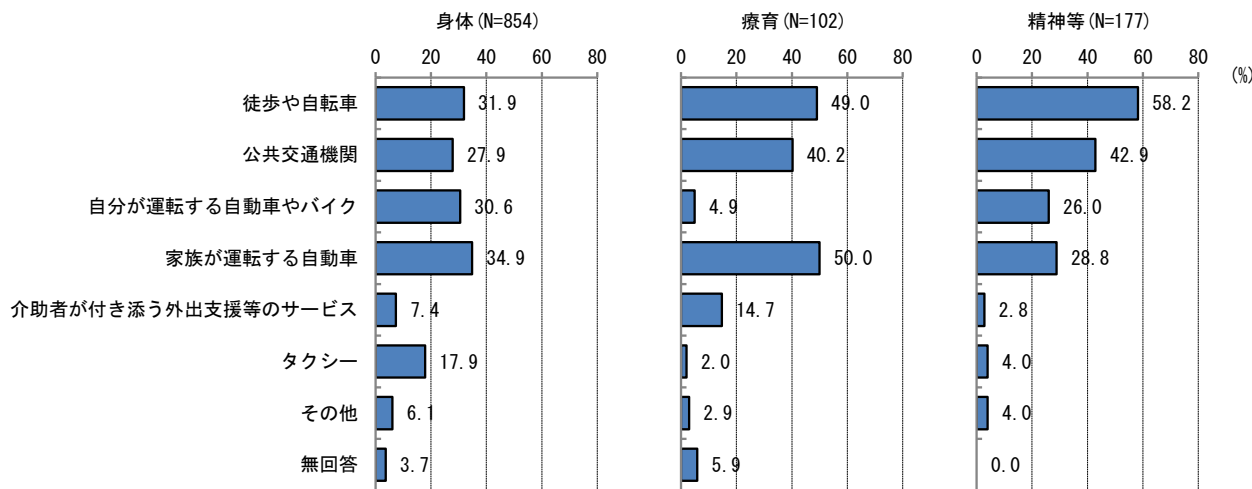
[身体：問 25，療育：問 24，精神等：問 26]

主な外出手段については、身体では「家族が運転する自動車」が34.9%と最も多く、次いで、「徒歩や自転車」が31.9%、「自分が運転する自動車やバイク」が30.6%となっています。

療育では「家族が運転する自動車」が50.0%と最も多く、次いで、「徒歩や自転車」が49.0%、「公共交通機関」が40.2%となっています。

精神等では、「徒歩や自転車」が58.2%と最も多く、次いで、「公共交通機関」が42.9%、「家族が運転する自動車」が28.8%となっています。

主な外出手段



〔2〕外出時に困ること

30 あなたが外出する時、困ることは何ですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

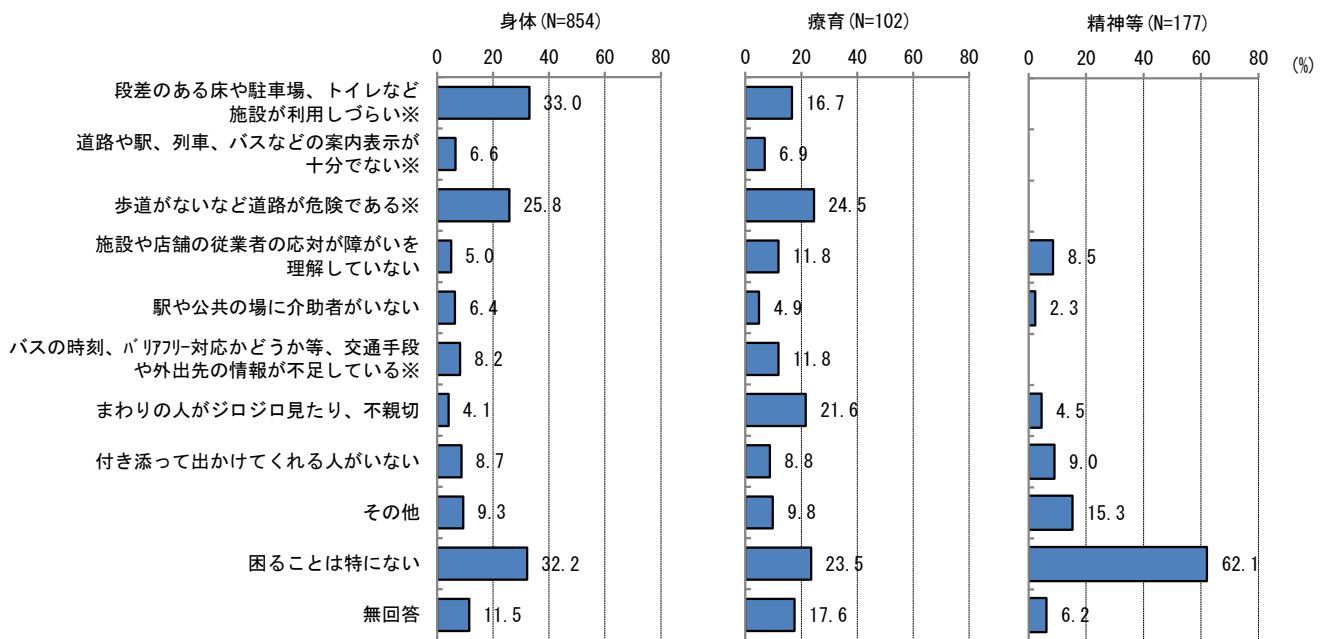
[身体：問 26，療育：問 25，精神等：問 27]

外出時に困ることについては、身体では「段差のある床や駐車場、トイレなど施設が利用しづらい」が33.0%と最も多く、次いで、「歩道がないなど道路が危険である」が25.8%となっています。

療育では「歩道がないなど道路が危険である」が24.5%と最も多く、次いで、「まわりの人がジロジロ見たり、不親切」が21.6%となっています。

精神等では「付き添って出かけてくれる人がいない」が9.0%と最も多く、次いで、「施設や店舗の従業員の対応が障がいを理解していない」が8.5%となっています。

外出時に困ること



※「段差のある床や駐車場、トイレなど施設が利用しづらい」、「道路や駅、列車、バスなどの案内表示が十分でない」、「歩道がないなど道路が危険である」、「バスの時刻、バリアフリー対応かどうか等、交通手段や外出先の情報が不足している」は、身体、療育にのみ設けています。

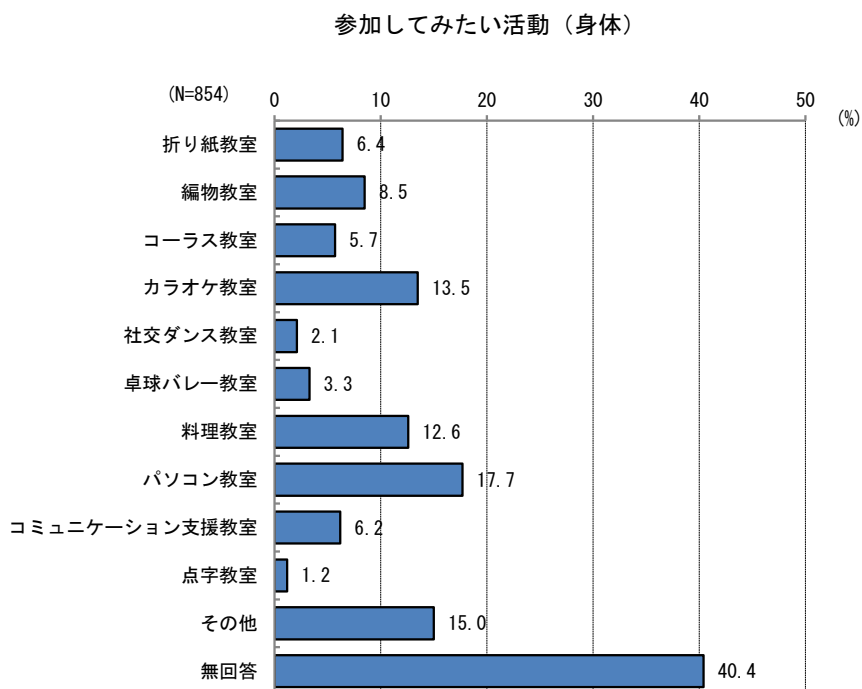
6 余暇や地域活動について

〔1〕参加してみたい活動（身体）

31 城陽市では身体障害者手帳をお持ちの方を対象として、創作的活動、社会適応訓練等を行っています。次の中からあなたが参加してみたいと思う番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問27]

参加してみたい活動（身体）については、「パソコン教室」が17.7%と最も多く、次いで、「カラオケ教室」が13.5%、「料理教室」が12.6%となっています。

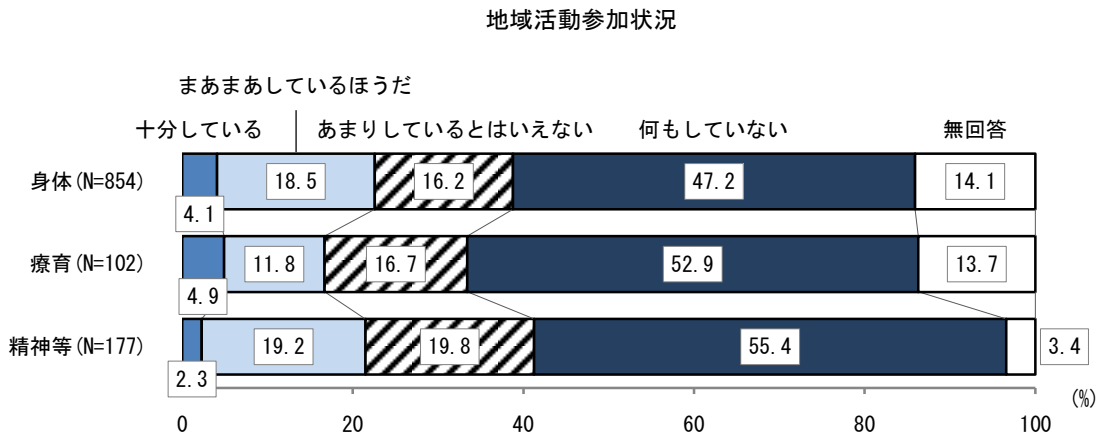


〔2〕 地域活動参加状況

32 あなたは地域活動（自治会、子ども会の行事など）へ参加していますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 28，療育：問 26，精神等：問 28]

地域活動参加状況については、「十分している」、「まあまあしているほうだ」を合わせた『参加している』は、身体で 22.6%、療育で 16.7%、精神等で 21.5%となっています。一方、「あまりしているとはいえない」、「何もしていない」を合わせた『参加していない』は、身体で 63.4%、療育で 69.6%、精神等で 75.2%と、いずれの調査対象でも『参加していない』が多くなっています。



〔3〕 地域活動に参加できない理由

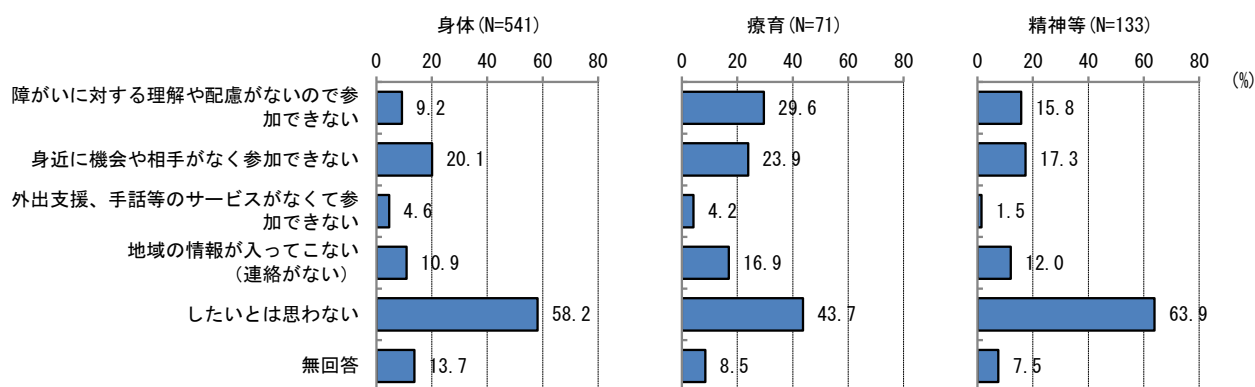
32-1 32 で「あまりしているとはいえない」、「何もしていない」と答えた方におたずねします。それはなぜですか。特に当てはまる番号に2つまで○をつけてください。

[身体：問 28-1，療育：問 26-1，精神等：問 28-1]

地域活動に参加できない理由については、いずれの調査対象でも「したいとは思わない」が最も多く、身体で58.2%、療育で43.7%、精神等で63.9%となっています。

次いで、身体では「身近に機会や相手がなく参加できない」が20.1%、「地域の情報が入っていない（連絡がない）」が10.9%、療育では「障がいに対する理解や配慮がないので参加できない」が29.6%、「身近に機会や相手がなく参加できない」が23.9%、精神等では「身近に機会や相手がなく参加できない」が17.3%、「障がいに対する理解や配慮がないので参加できない」が15.8%となっています。

地域活動に参加できない理由



7 サービス利用について

〔1〕 自立支援給付サービスの利用状況と満足度

33(1) 利用しているサービスに○をつけてください。

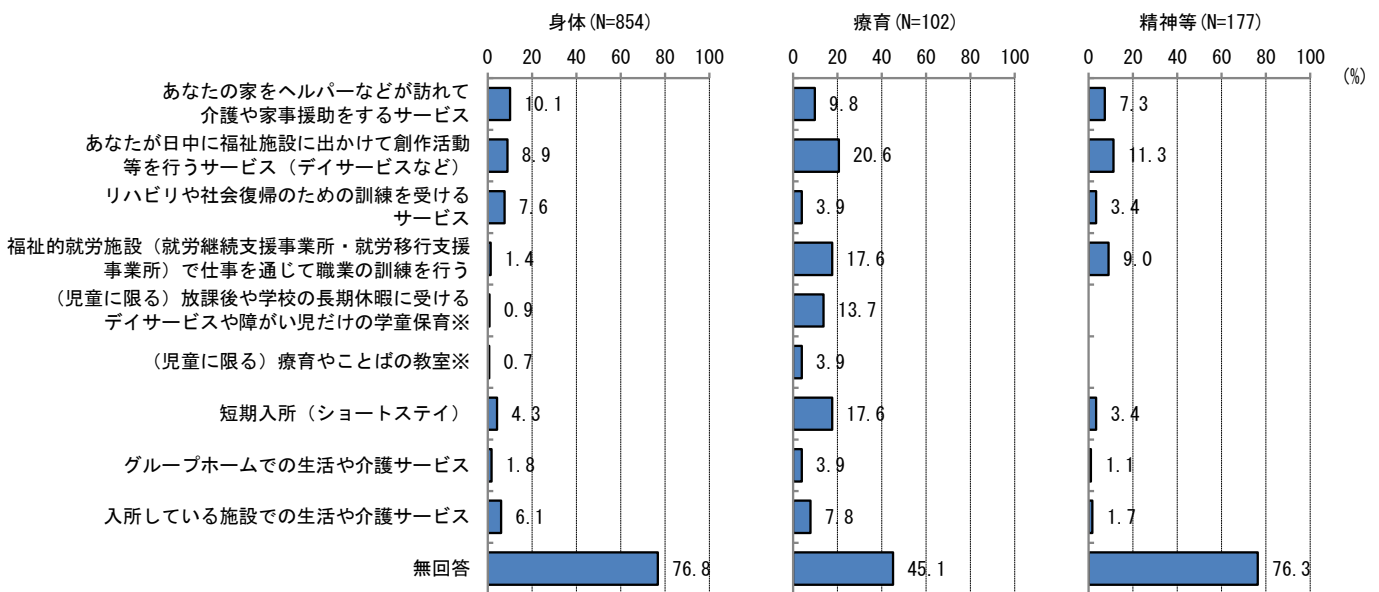
[身体：問 29(1)，療育：問 27(1)，精神等：問 29(1)]

自立支援給付サービスの利用状況については、身体では「あなたの家をヘルパーなどが訪れて介護や家事援助をするサービス」が 10.1%と最も多く、次いで、「あなたが日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス（デイサービスなど）」が 8.9%、「リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス」が 7.6%となっています。

療育では「あなたが日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス（デイサービスなど）」が 20.6%と最も多く、次いで、「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事を通じて職業の訓練を行う」、「短期入所（ショートステイ）」がそれぞれ 17.6%となっています。

精神等では「あなたが日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス（デイサービスなど）」が 11.3%と最も多く、次いで、「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事を通じて職業の訓練を行う」が 9.0%、「あなたの家をヘルパーなどが訪れて介護や家事援助をするサービス」が 7.3%となっています。

自立支援給付サービスの利用状況



※ 「（児童に限る）放課後や学校の長期休暇に受けるデイサービスや障がい児だけの学童保育」、「（児童に限る）療育やことばの教室」は、身体、療育にのみ設けています。

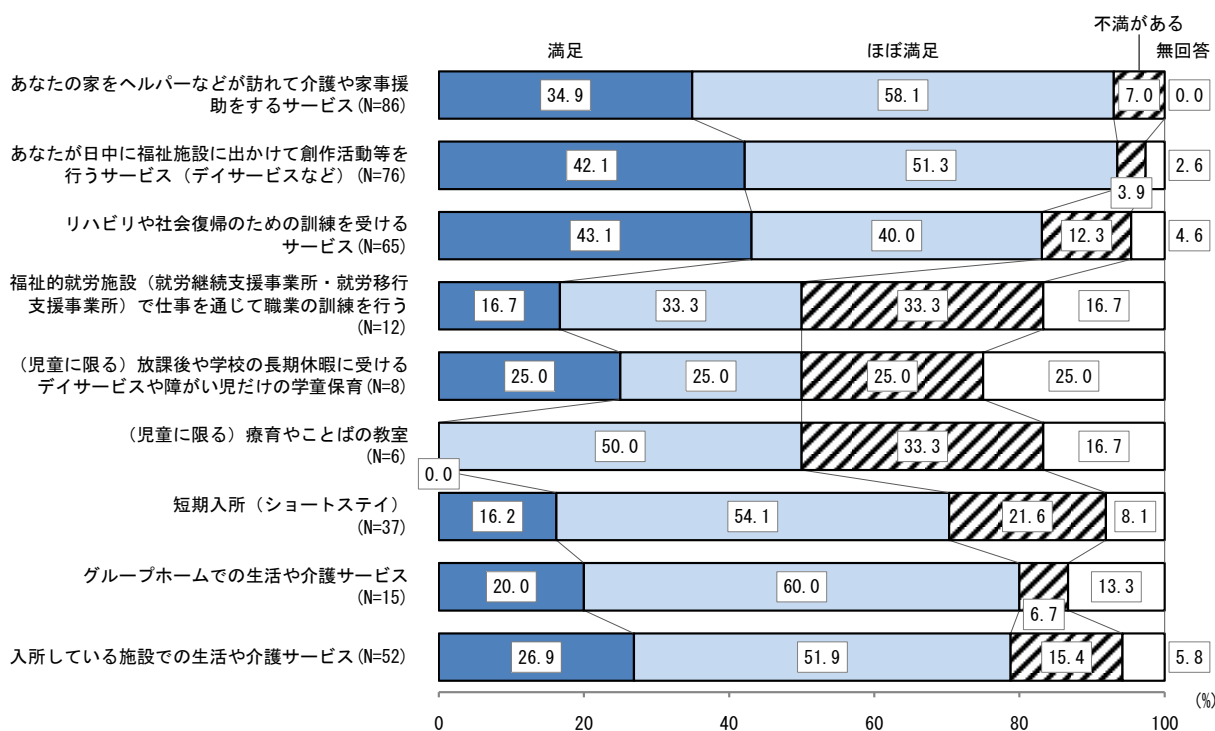
33(2) 利用しているサービスの満足度を次の3つから選んで該当の番号に○を1つだけつけてください。

[身体：問29(2)，療育：問27(2)，精神等：問29(2)]

自立支援給付サービスの満足度については、いずれの調査対象でも概ね「不満がある」に比べて「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』が多くなっています。一方、精神等の「短期入所（ショートステイ）」では、「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』に比べて「不満がある」が多くなっています。

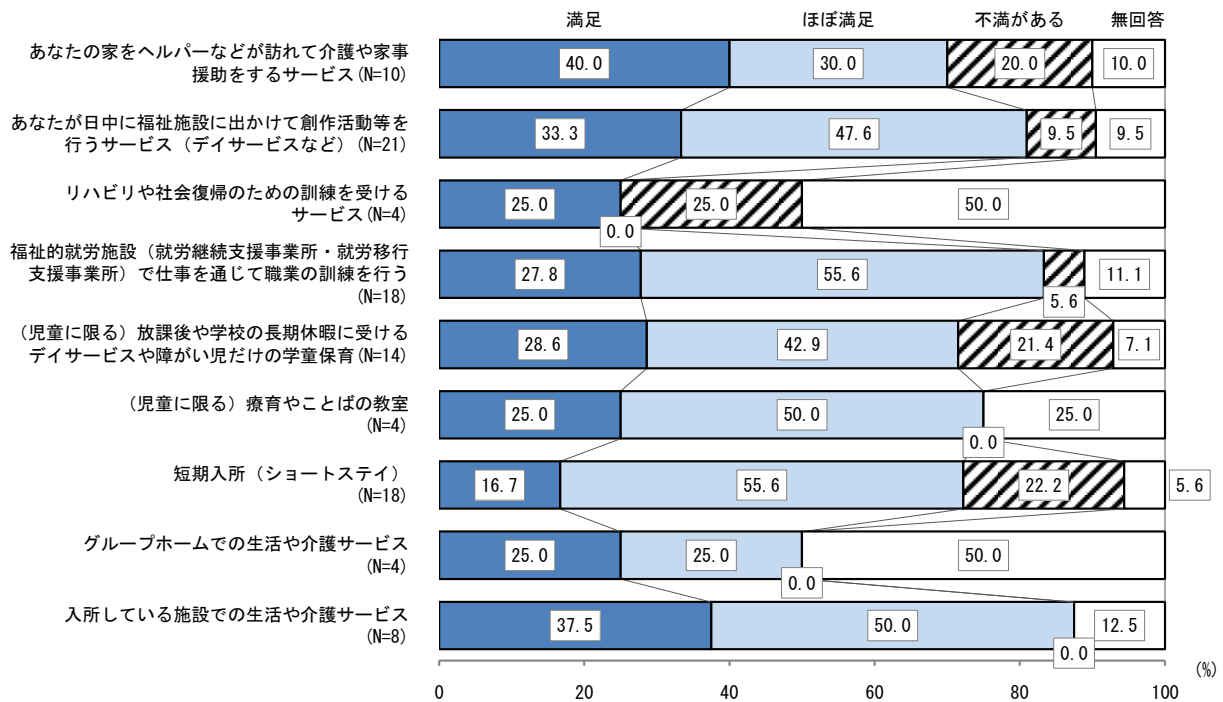
身体で「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』は、「あなたが日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス（デイサービスなど）」が93.4%と最も多く、次いで、「あなたの家をヘルパーなどが訪れて介護や家事援助をするサービス」が93.0%、「リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス」が83.1%となっています。一方、「不満がある」は、「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事を通じて職業の訓練を行う」、「（児童に限る）療育やことばの教室」がそれぞれ33.3%と最も多く、次いで「（児童に限る）放課後や学校の長期休暇に受けるデイサービスや障がい児だけの学童保育」が25.0%となっています。

自立支援給付サービスの満足度（身体）



療育で「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』は、「入所している施設での生活や介護サービス」が87.5%と最も多く、次いで、「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事を通じて職業の訓練を行う」が83.4%、「あなたが日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス（デイサービスなど）」が80.9%となっています。一方、「不満がある」は、「リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス」が25.0%と最も多く、次いで、「短期入所（ショートステイ）」が22.2%、「（児童に限る）放課後や学校の長期休暇に受けるデイサービスや障がい児だけの学童保育」が21.4%となっています。

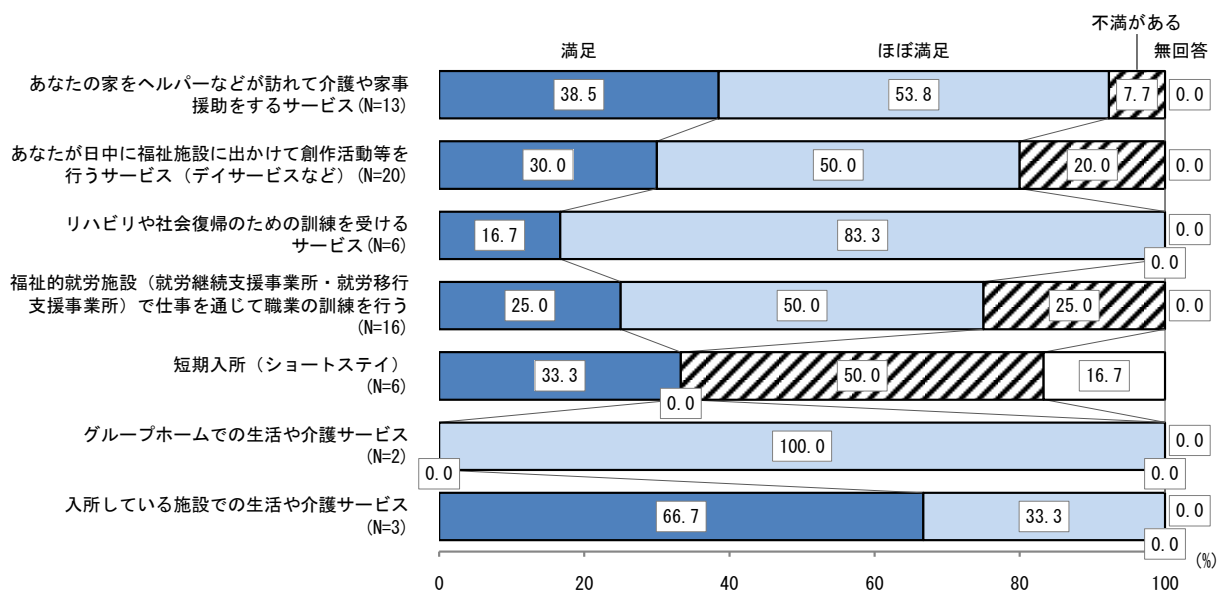
自立支援給付サービスの満足度（療育）



II-7 サービス利用について

精神等で「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』は、「リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス」、「グループホームでの生活や介護サービス」、「入所している施設での生活や介護サービス」が100.0%と最も多く、次いで、「あなたの家をヘルパーなどが訪れて介護や家事援助をするサービス」が92.3%となっています。一方、「不満がある」は、「短期入所（ショートステイ）」が50.0%と最も多く、次いで、「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事を通じて職業の訓練を行う」が25.0%、「あなたが日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス（デイサービスなど）」が20.0%となっています。

自立支援給付サービスの満足度（精神等）



33(3) 33(2)で「不満がある」を選択した方は、その不満の番号をいくつでも選んで○をつけてください。

[身体：問 29(3)，療育：問 27(3)，精神等：問 29(3)]

自立支援給付サービスの不満の内容については、次のとおりです。

自立支援給付サービスの不満内容（身体）

単位：件

	回答数	内容が不満	時間や日数が足りない	職員の対応が不満	その他	無回答
あなたの家をヘルパーなどが訪れて介護や家事援助をするサービス	6	1	3	0	1	1
あなたが日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス（デイサービスなど）	3	1	1	1	0	0
リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス	8	3	5	0	1	0
福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事を通じて職業の訓練を行う	4	3	0	2	0	0
（児童に限る）放課後や学校の長期休暇に受けるデイサービスや障がい児だけの学童保育	2	0	1	0	1	0
（児童に限る）療育やことばの教室	2	2	0	0	1	0
短期入所（ショートステイ）	8	2	1	4	3	2
グループホームでの生活や介護サービス	1	1	0	0	0	0
入所している施設での生活や介護サービス	8	2	0	3	2	2

自立支援給付サービスの不満内容（療育）

単位：件

	回答数	内容が不満	時間や日数が足りない	職員の対応が不満	その他	無回答
あなたの家をヘルパーなどが訪れて介護や家事援助をするサービス	2	1	0	0	0	1
あなたが日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス（デイサービスなど）	2	1	1	0	0	0
リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス	1	1	1	0	0	0
福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事を通じて職業の訓練を行う	1	0	0	1	0	0
（児童に限る）放課後や学校の長期休暇に受けるデイサービスや障がい児だけの学童保育	3	2	1	0	1	0
（児童に限る）療育やことばの教室	0	0	0	0	0	0
短期入所（ショートステイ）	4	1	2	1	2	0
グループホームでの生活や介護サービス	0	0	0	0	0	0
入所している施設での生活や介護サービス	0	0	0	0	0	0

Ⅱ-7 サービス利用について

自立支援給付サービスの不満内容（精神等）

単位：件

	回答数	内容が不満	時間や日数が足りない	職員の対応が不満	その他	無回答
あなたの家をヘルパーなどが訪れて介護や家事援助をするサービス	1	0	0	1	0	0
あなたが日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス（デイサービスなど）	4	3	1	1	0	0
リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス	0	0	0	0	0	0
福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事を通じて職業の訓練を行う	4	1	0	2	3	1
短期入所（ショートステイ）	3	0	1	0	2	0
グループホームでの生活や介護サービス	0	0	0	0	0	0
入所している施設での生活や介護サービス	0	0	0	0	0	0

※「（児童に限る）放課後や学校の長期休暇に受けるデイサービスや障がい児だけの学童保育」、「（児童に限る）療育やことばの教室」は、身体、療育にのみ設けています。

〔2〕 自立支援給付サービスで不満と感ずる内容

34 33(3)で特に不満と感ずる内容を3つまでお書きください。

[身体：問 30，療育：問 28，精神等：問 30]

自立支援給付サービスで不満と感ずる内容については、次のとおり、身体 30 件、療育 13 件、精神等 20 件の記述意見を得ました。

自立支援給付サービスで不満と感ずる内容（身体）

単位：件

	記述数
あなたの家をヘルパーなどが訪れて介護や家事援助をするサービス	2
あなたが日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス（デイサービスなど）	1
リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス	6
福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事を通じて職業の訓練を行う	5
（児童に限る）放課後や学校の長期休暇に受けるデイサービスや障がい児だけの学童保育	1
（児童に限る）療育やことばの教室	0
短期入所（ショートステイ）	7
グループホームでの生活や介護サービス	0
入所している施設での生活や介護サービス	8
合計	30

自立支援給付サービスで不満と感ずる内容（療育）

単位：件

	記述数
あなたの家をヘルパーなどが訪れて介護や家事援助をするサービス	2
あなたが日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス（デイサービスなど）	2
リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス	2
福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事を通じて職業の訓練を行う	1
（児童に限る）放課後や学校の長期休暇に受けるデイサービスや障がい児だけの学童保育	2
（児童に限る）療育やことばの教室	0
短期入所（ショートステイ）	4
グループホームでの生活や介護サービス	0
入所している施設での生活や介護サービス	0
合計	13

II-7 サービス利用について

自立支援給付サービスで不満と感じる内容（精神等）

単位：件

	記述数
あなたの家をヘルパーなどが訪れて介護や家事援助をするサービス	2
あなたが日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス（デイサービスなど）	7
リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス	1
福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事を通じて職業の訓練を行う	6
短期入所（ショートステイ）	4
グループホームでの生活や介護サービス	0
入所している施設での生活や介護サービス	0
合計	20

※「（児童に限る）放課後や学校の長期休暇に受けるデイサービスや障がい児だけの学童保育」、「（児童に限る）療育やことばの教室」は、身体、療育にのみ設けています。

〔3〕 地域生活支援事業の利用状況と満足度

35(1) 次の表の中で、利用している地域生活支援事業のサービスに○をつけてください。

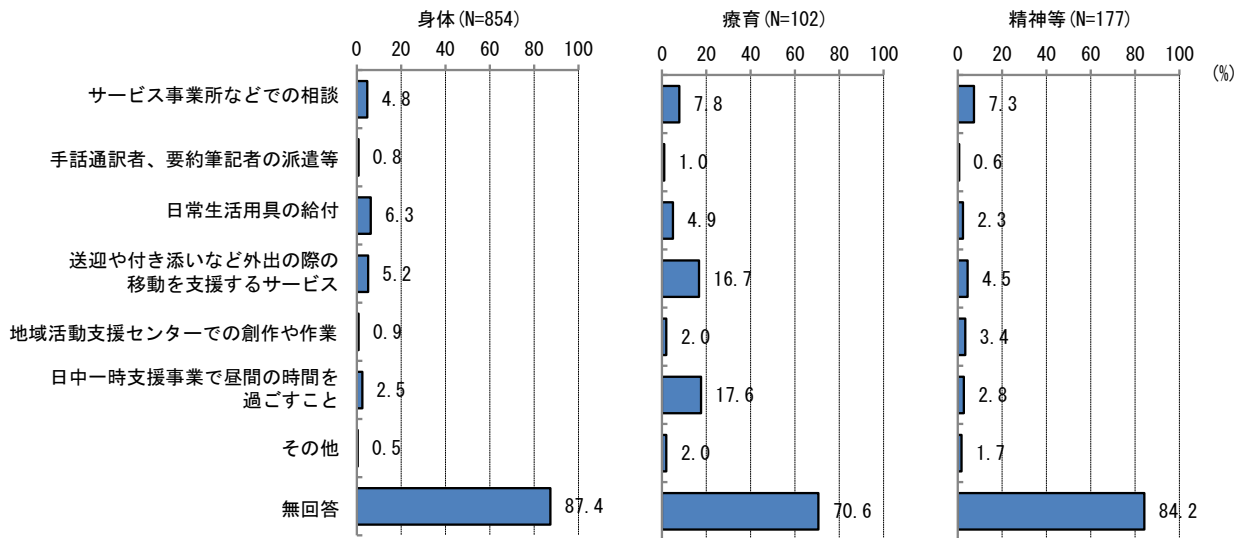
[身体：問31(1)，療育：問29(1)，精神等：問31(1)]

地域生活支援事業の利用状況については、身体では「日常生活用具の給付」が6.3%と最も多く、次いで、「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」が5.2%、「サービス事業所などでの相談」が4.8%となっています。

療育では「日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと」が17.6%と最も多く、次いで、「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」が16.7%、「サービス事業所などでの相談」が7.8%となっています。

精神等では「サービス事業所などでの相談」が7.3%と最も多く、次いで、「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」が4.5%、「地域活動支援センターでの創作や作業」が3.4%となっています。

地域生活支援事業の利用状況



Ⅱ-7 サービス利用について

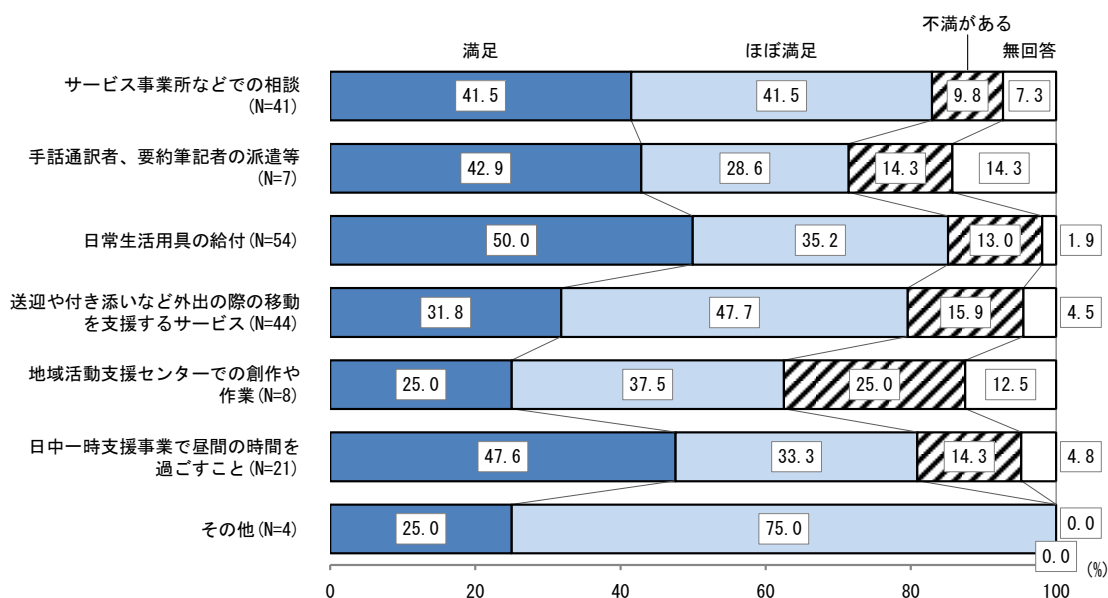
35(2) 利用しているサービスの満足度を次の3つから選んで該当の番号に○を1つだけつけてください。

[身体：問31(2)，療育：問29(2)，精神等：問31(2)]

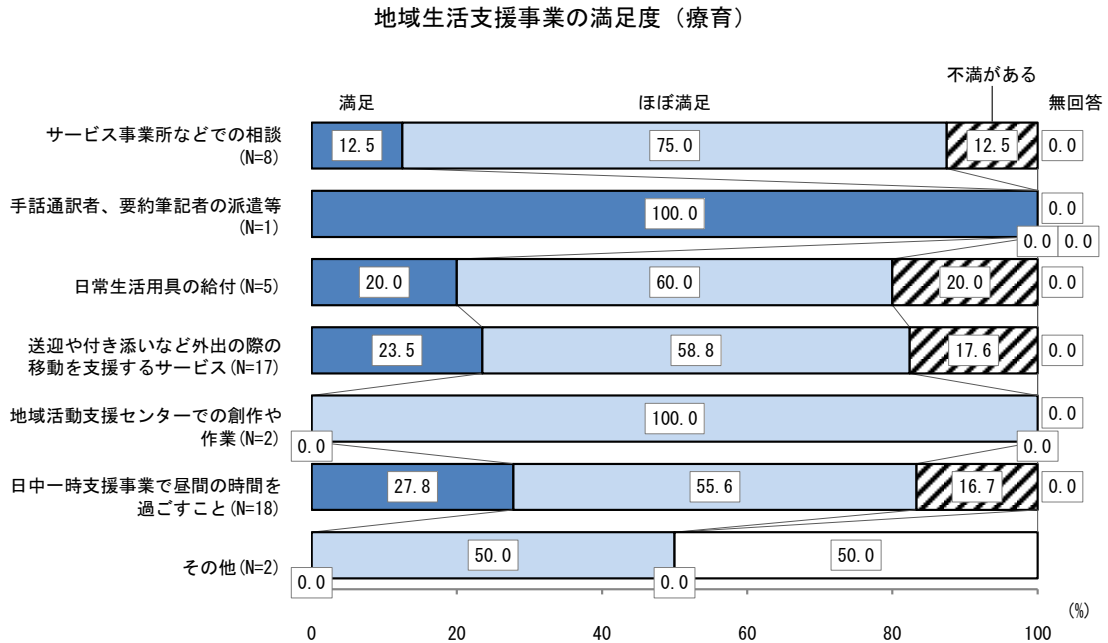
地域生活支援事業の満足度については、いずれの調査対象でも「不満がある」に比べて「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』が多くなっています。

身体では「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』は、「日常生活用具の給付」が85.2%と最も多く、次いで、「サービス事業所などでの相談」が83.0%となっています。一方、「不満がある」は、「地域活動支援センターでの創作や作業」が25.0%と最も多く、次いで、「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」が15.9%となっています。

地域生活支援事業の満足度（身体）



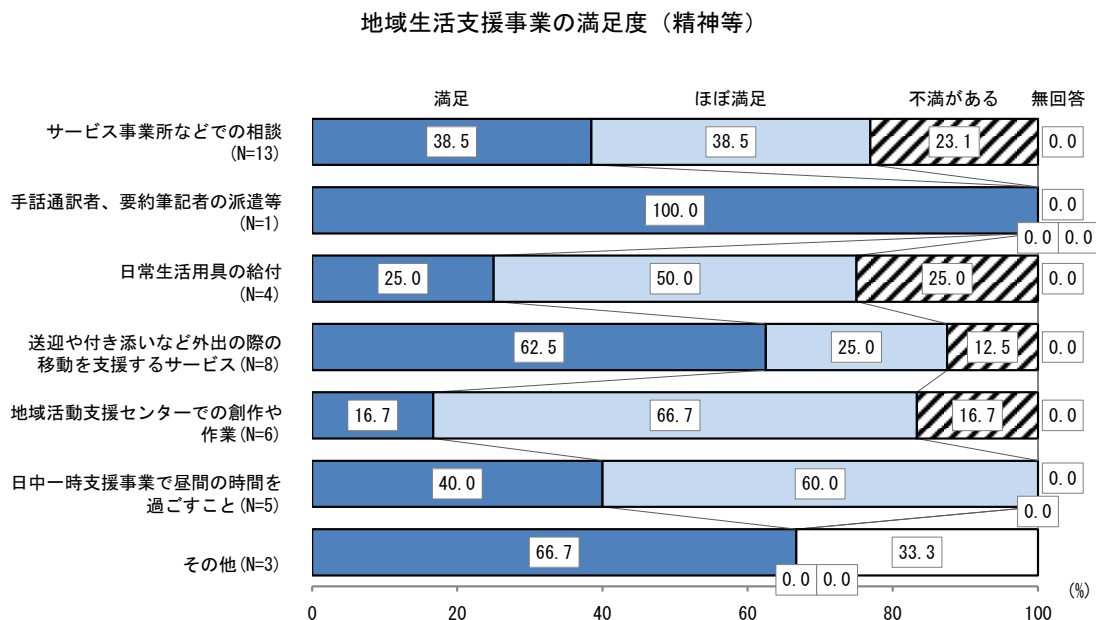
療育では回答数が少ないものの、「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』は、「手話通訳者、要約筆記者の派遣等」、「地域活動支援センターでの創作や作業」がそれぞれ 100.0%と最も多く、次いで、「サービス事業所などでの相談」が 87.5%となっています。一方、「不満がある」は、「日常生活用具の給付」が 20.0%と最も多く、次いで、「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」が 17.6%となっています。



※手話通訳者、要約筆記者の派遣は、身体障がい者（聴覚・言語障がい）を対象とするものです。

II-7 サービス利用について

精神等では回答数が少ないものの、「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』は、「手話通訳者、要約筆記者の派遣等」、「日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと」がそれぞれ100.0%と最も多く、次いで、「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」が87.5%となっています。一方、「不満がある」は、「日常生活用具の給付」が25.0%と最も多く、次いで、「サービス事業所などでの相談」が23.1%となっています。



※手話通訳者、要約筆記者の派遣は、身体障がい者（聴覚・言語障がい）を対象とするものです。

35(3) 35(2)で「不満がある」を選択した方は、その不満の番号をいくつでも選んで○をつけてください。

[身体：問 31(3)，療育：問 29(3)，精神等：問 31(3)]

地域生活支援事業の不満内容については、次のとおりです。

地域生活支援事業の不満内容（身体）

単位：件

	回答数	内容が不満	時間や日数が足りない	職員の対応が不満	その他	無回答
サービス事業所などでの相談	4	2	0	2	0	0
手話通訳者、要約筆記者の派遣等	1	1	0	0	0	0
日常生活用具の給付	7	4	0	0	1	2
送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス	7	3	1	1	1	1
地域活動支援センターでの創作や作業	2	2	0	0	0	0
日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと	3	2	0	1	0	0
その他	0	0	0	0	0	0

地域生活支援事業の不満内容（療育）

単位：件

	回答数	内容が不満	時間や日数が足りない	職員の対応が不満	その他	無回答
サービス事業所などでの相談	1	0	0	1	0	0
手話通訳者、要約筆記者の派遣等	0	0	0	0	0	0
日常生活用具の給付	1	1	0	0	0	0
送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス	3	2	0	1	1	0
地域活動支援センターでの創作や作業	0	0	0	0	0	0
日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと	3	2	0	1	1	0
その他	0	0	0	0	0	0

II-7 サービス利用について

地域生活支援事業の不満内容（精神等）

単位：件

	回答数	内容が不満	時間や日数が足りない	職員の対応が不満	その他	無回答
サービス事業所などでの相談	3	2	0	2	0	0
手話通訳者、要約筆記者の派遣等	0	0	0	0	0	0
日常生活用具の給付	1	0	0	0	0	1
送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス	1	0	1	0	0	0
地域活動支援センターでの創作や作業	1	0	0	0	0	1
日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0

〔4〕地域生活支援事業のサービスで不満と感ずる内容

36 35(3)で特に不満と感ずる内容を3つまでお書きください。

[身体：問32，療育：問30，精神等：問32]

地域生活支援事業で不満と感ずる内容については、次のとおり、身体8件、療育7件、精神等6件の記述意見をいただきました。

地域生活支援事業で不満と感ずる内容（身体）

単位：件

	記述数
サービス事業所などでの相談	1
手話通訳者、要約筆記者の派遣等	0
日常生活用具の給付	4
送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス	3
地域活動支援センターでの創作や作業	0
日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと	0
その他	0
合計	8

地域生活支援事業で不満と感ずる内容（療育）

単位：件

	記述数
サービス事業所などでの相談	1
手話通訳者、要約筆記者の派遣等	0
日常生活用具の給付	1
送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス	3
地域活動支援センターでの創作や作業	0
日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと	2
その他	0
合計	7

地域生活支援事業で不満と感ずる内容（精神等）

単位：件

	記述数
サービス事業所などでの相談	3
手話通訳者、要約筆記者の派遣等	0
日常生活用具の給付	1
送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス	1
地域活動支援センターでの創作や作業	1
日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと	0
その他	0
合計	6

〔5〕必要なサービス

37 今受けているサービス以外に必要なサービスはありますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

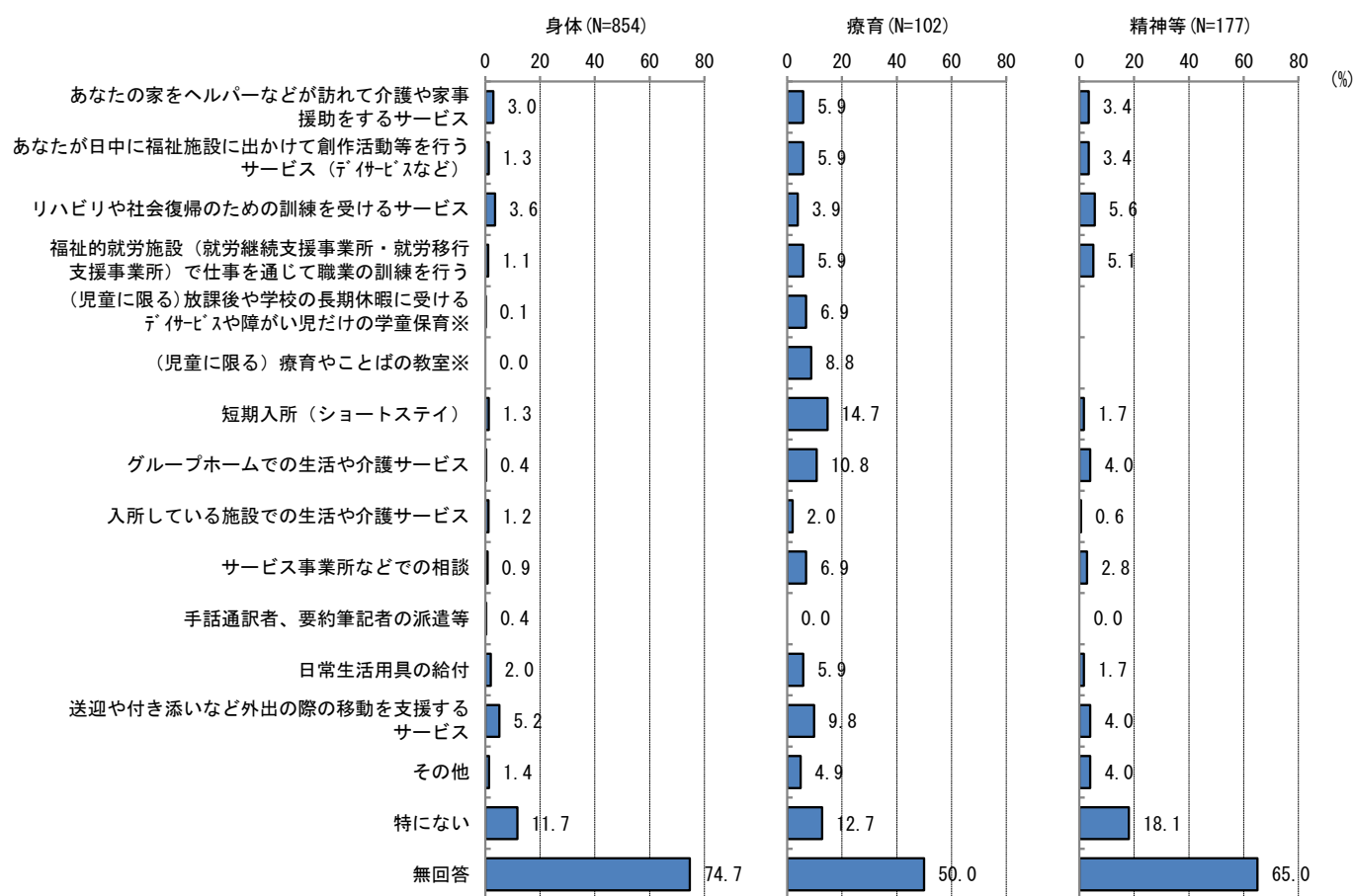
[身体：問 33, 療育：問 31, 精神等：問 33]

必要なサービスについては、身体では「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」が 5.2%と最も多く、次いで、「リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス」が 3.6%となっています。

療育では「短期入所（ショートステイ）」が 14.7%と最も多く、次いで、「グループホームでの生活や介護サービス」が 10.8%となっています。

精神等では「リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス」が 5.6%と最も多く、次いで、「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事を通じて職業の訓練を行う」が 5.1%となっています。

必要なサービス



※「（児童に限る）放課後や学校の長期休暇に受けるサービスや障がい児だけの学童保育」、「（児童に限る）療育やことばの教室」は、身体、療育にのみ設けています。

〔6〕必要と感じるサービスや支援

38 今のところ城陽市では実施はされていませんが、次のサービスや支援で必要と感じるものはありますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

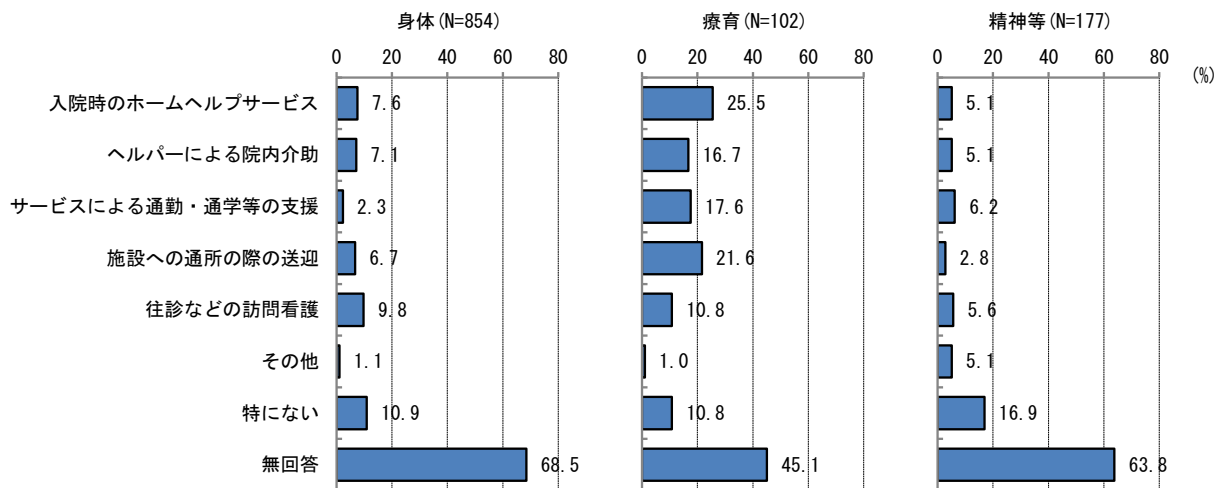
[身体：問 34，療育：問 32，精神等：問 34]

必要と感じるサービスや支援については、身体では「往診などの訪問看護」が9.8%と最も多く、次いで、「入院時のホームヘルプサービス」が7.6%、「ヘルパーによる院内介助」が7.1%となっています。

療育では「入院時のホームヘルプサービス」が25.5%と最も多く、次いで、「施設への通所の際の送迎」が21.6%、「サービスによる通勤・通学等の支援」が17.6%となっています。

精神等では「サービスによる通勤・通学等の支援」が6.2%と最も多く、次いで、「往診などの訪問看護」が5.6%、「入院時のホームヘルプサービス」、「ヘルパーによる院内介助」がそれぞれ5.1%となっています。

必要と感じるサービスや支援



〔7〕 サービスを決定している人

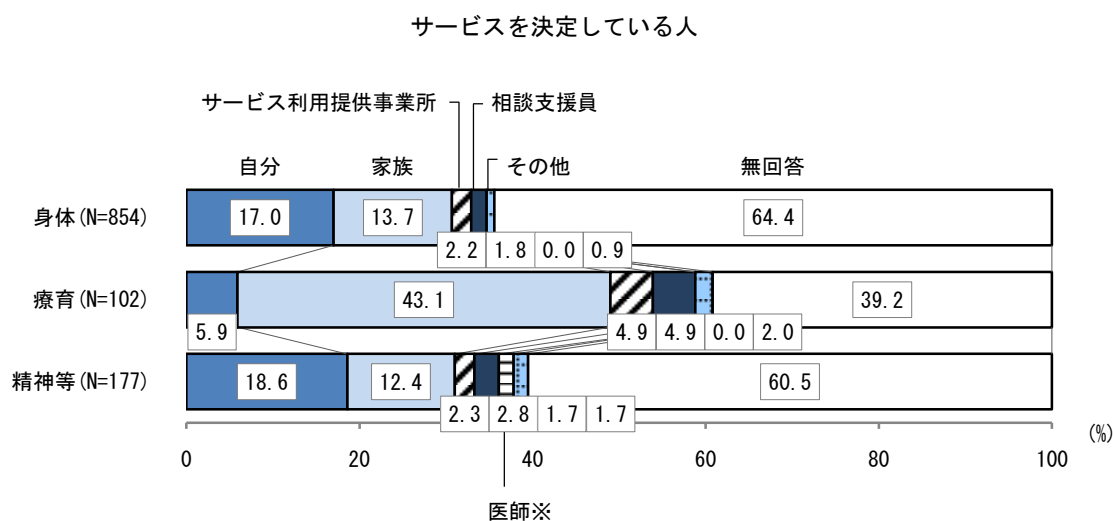
39 福祉サービス等の利用にあたり、利用する施設やサービス内容について誰が決めていますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 35, 療育：問 33, 精神等：問 35]

サービスを決定している人については、身体では「自分」が17.0%と最も多く、次いで、「家族」が13.7%となっています。

療育では「家族」が43.1%と最も多く、次いで、「自分」が5.9%となっています。

精神等では「自分」が18.6%と最も多く、次いで、「家族」が12.4%となっています。



※「医師」は、精神等にのみ設けています。

8 情報について

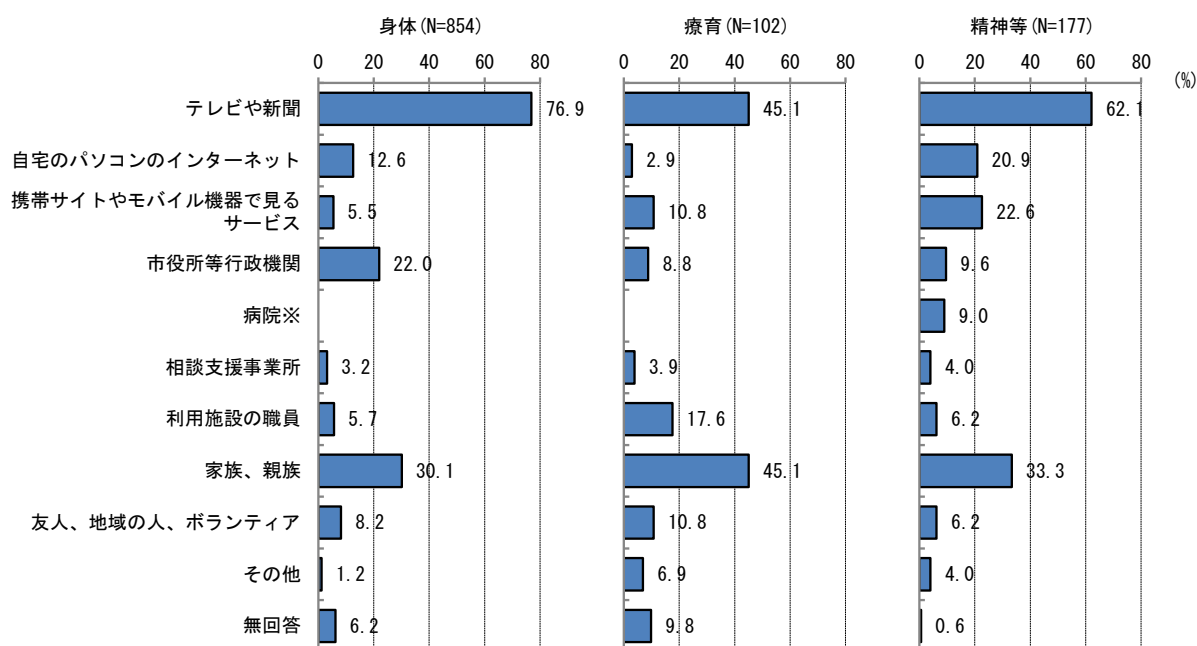
〔1〕情報の入手方法

40 あなたは生活に必要な情報を主に何から得ていますか。特に当てはまる番号に2つまで○をつけてください。

[身体：問36，療育：問34，精神等：問36]

情報の入手方法については、いずれの調査対象でも「テレビや新聞」が最も多く、次いで、「家族、親族」となっています。次いで、身体では「市役所等行政機関」が22.0%、療育では「利用施設の職員」が17.6%、精神等では「携帯サイトやモバイル機器で見るサービス」が22.6%となっています。

情報の入手方法



※「病院」は、精神等にのみ設けています。

〔2〕 充実すべき情報発信方法

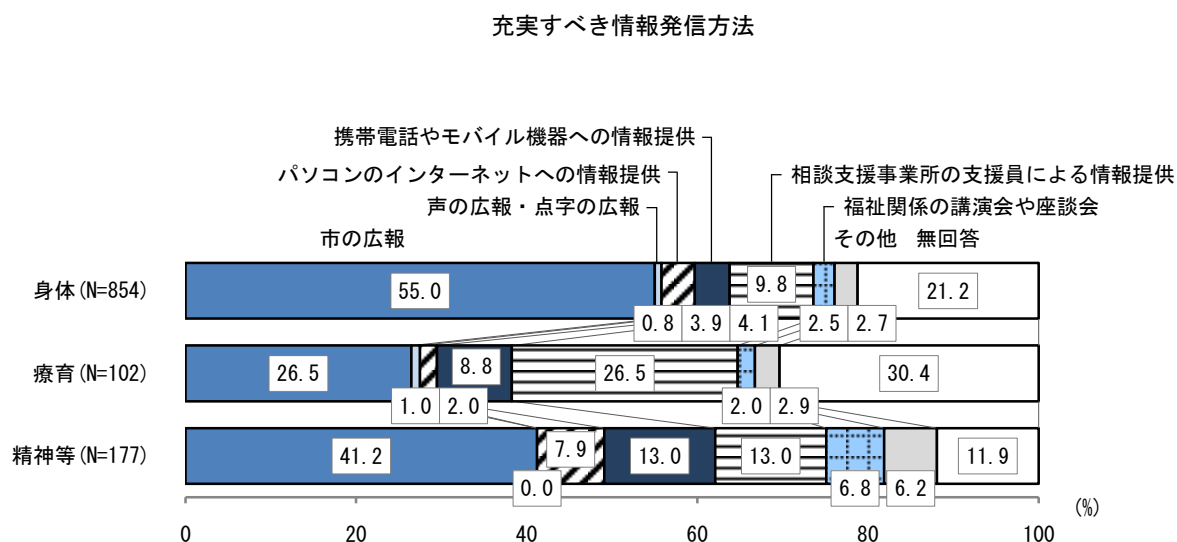
41 市からの情報発信として、もっとも力を入れてほしいことは何ですか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 37，療育：問 35，精神等：問 37]

充実すべき情報発信方法については、身体では「市の広報」が55.0%と最も多く、次いで、「相談支援事業所の支援員による情報提供」が9.8%、「携帯電話やモバイル機器への情報提供」が4.1%となっています。

療育では「市の広報」、「相談支援事業所の支援員による情報提供」がそれぞれ26.5%と最も多く、次いで、「携帯電話やモバイル機器への情報提供」が8.8%となっています。

精神等では「市の広報」が41.2%と最も多く、次いで、「携帯電話やモバイル機器への情報提供」、「相談支援事業所の支援員による情報提供」がそれぞれ13.0%となっています。



9 地域での暮らしや悩み・相談について

〔1〕近所との付き合いの程度

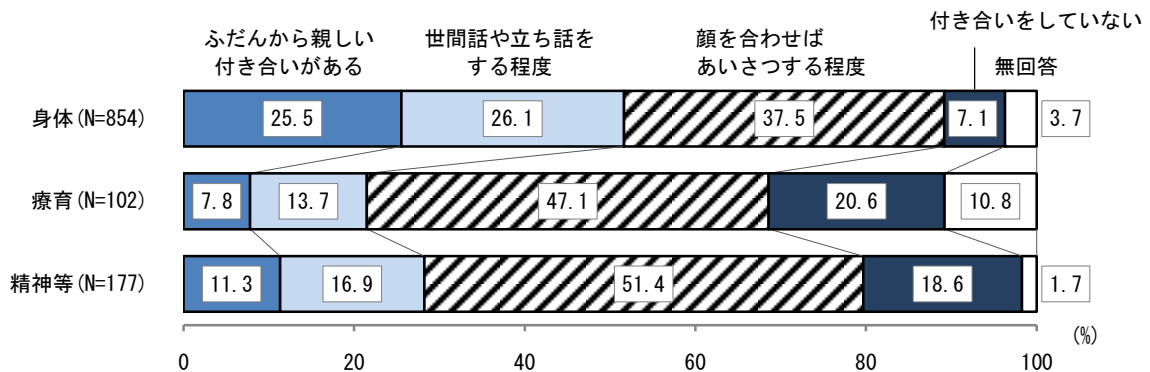
42 あなたは、隣近所の人とどの程度お付き合いをしていますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 38，療育：問 36，精神等：問 38]

近所との付き合いの程度については、身体では「顔を合わせばあいさつする程度」が37.5%と最も多く、次いで、「世間話や立ち話をする程度」が26.1%、「ふだんから親しい付き合いがある」が25.5%となっています。

療育、精神等では「顔を合わせばあいさつする程度」がそれぞれ47.1%、51.4%と最も多く、次いで、「付き合いをしていない」がそれぞれ20.6%、18.6%、「世間話や立ち話をする程度」がそれぞれ13.7%、16.9%となっています。

近所との付き合いの程度



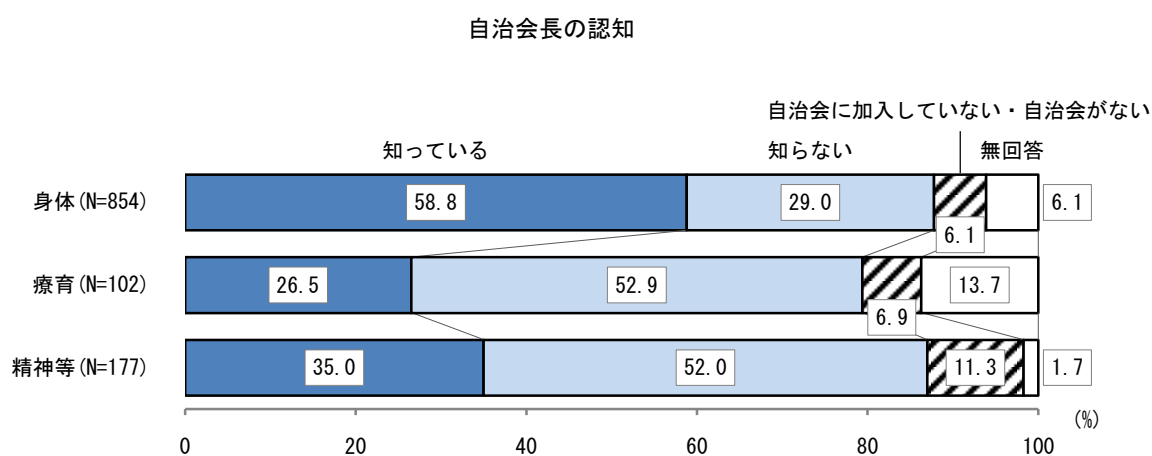
〔2〕 自治会長、民生委員・児童委員の認知

43 あなたは、あなたの地域の自治会長や民生委員・児童委員を知っていますか。当てはまる番号にそれぞれ1つずつ〇をつけてください。

[身体：問 39，療育：問 37，精神等：問 39]

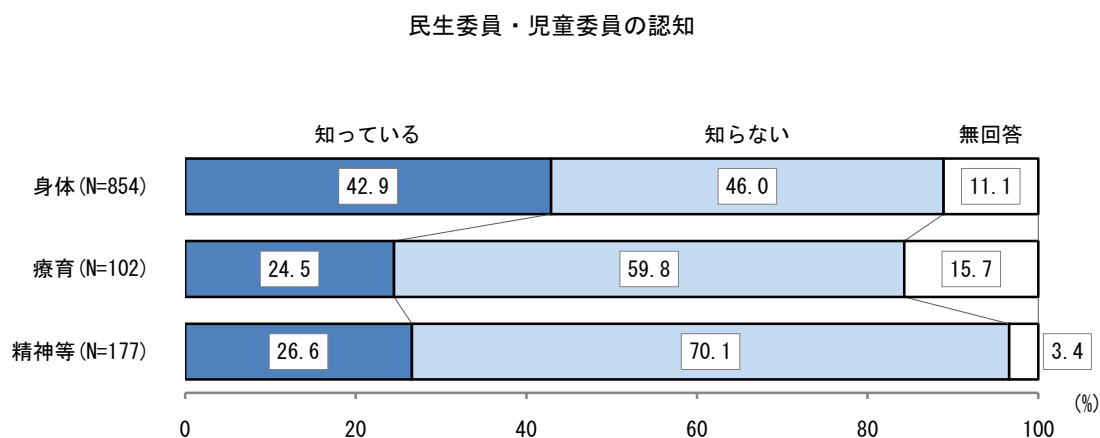
①自治会長の認知

自治会長の認知については、「知っている」が身体で 58.8%と最も多く、次いで、精神等で 35.0%、療育で 26.5%となっています。



②民生委員・児童委員の認知

民生委員・児童委員の認知については、「知っている」が身体で 42.9%と最も多く、次いで、精神等で 26.6%、療育で 24.5%となっています。



〔3〕 悩みや相談事

44 あなたの今現在の悩みや相談事などは、どんなことですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

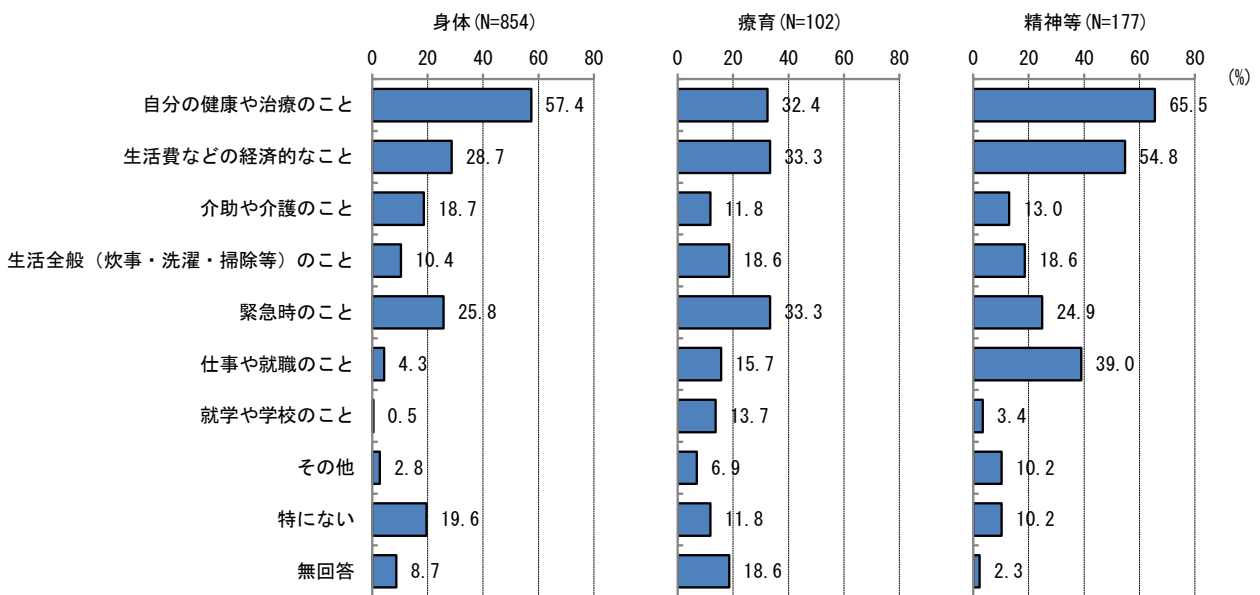
[身体：問 40，療育：問 38，精神等：問 40]

悩みや相談事については、身体では「自分の健康や治療のこと」が 57.4%と最も多く、次いで、「生活費などの経済的なこと」が 28.7%、「緊急時のこと」が 25.8%となっています。

療育では「生活費などの経済的なこと」、「緊急時のこと」がそれぞれ 33.3%と最も多く、次いで、「自分の健康や治療のこと」が 32.4%となっています。

精神等では「自分の健康や治療のこと」が 65.5%と最も多く、次いで、「生活費などの経済的なこと」が 54.8%、「仕事や就職のこと」が 39.0%となっています。

悩みや相談事



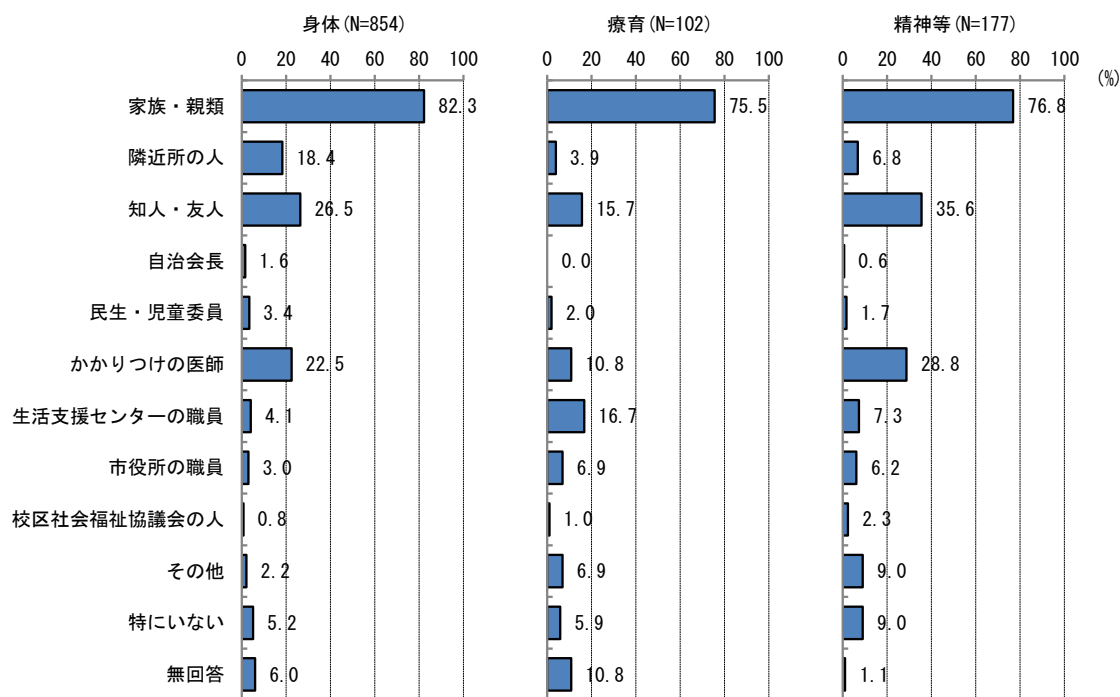
〔4〕 日常的な相談相手

45 日常的に連絡がとれ、困ったことや不安なことを相談できる相手はどのような方ですか。
当てはまる番号にいくつでも〇をつけてください。

[身体：問 41，療育：問 39，精神等：問 41]

日常的な相談相手については、いずれの調査対象でも「家族・親類」が約 8 割と最も多くなっています。次いで、身体では「知人・友人」が 26.5%、「かかりつけの医師」が 22.5%、療育では「生活支援センターの職員」が 16.7%、「知人・友人」が 15.7%、精神等では「知人・友人」が 35.6%、「かかりつけの医師」が 28.8%となっています。

日常的な相談相手



〔5〕現在の相談体制について

46 現在の困った時の相談体制について、どのように感じていますか。

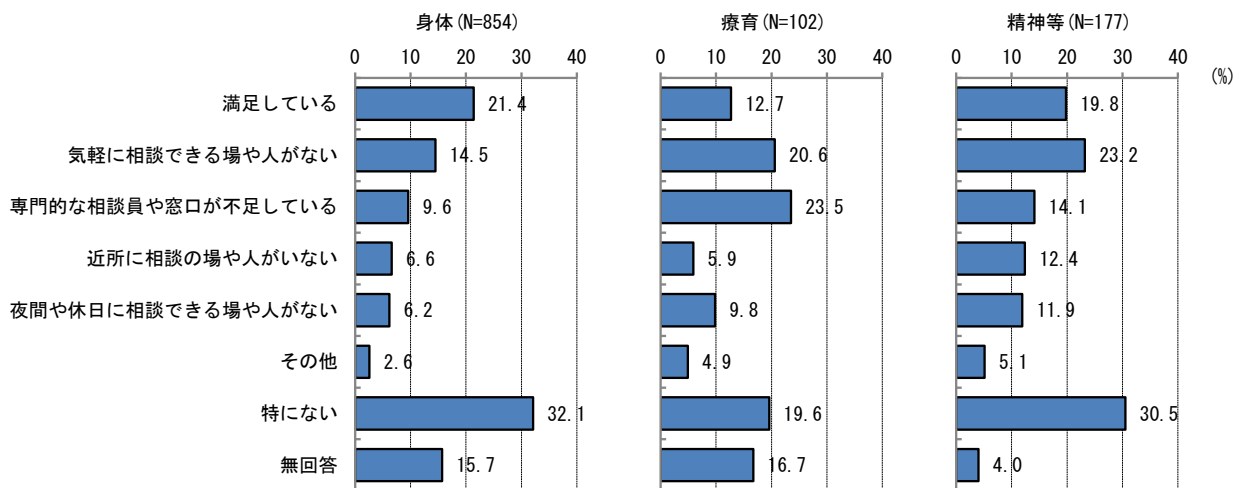
[身体：問 42，療育：問 40，精神等：問 42]

現在の相談体制については、身体では「満足している」が21.4%と最も多く、次いで、「気軽に相談できる場や人がない」が14.5%、「専門的な相談員や窓口が不足している」が9.6%となっています。

療育では「専門的な相談員や窓口が不足している」が23.5%と最も多く、次いで、「気軽に相談できる場や人がない」が20.6%、「満足している」が12.7%となっています。

精神等では「気軽に相談できる場や人がない」が23.2%と最も多く、次いで、「満足している」が19.8%、「専門的な相談員や窓口が不足している」が14.1%となっています。

現在の相談体制について



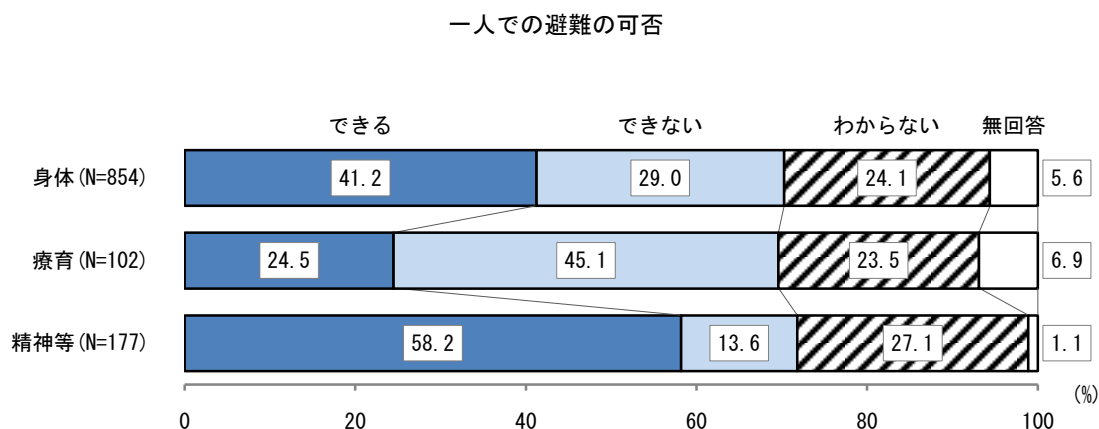
10 災害時の避難等について

〔1〕一人での避難の可否

47 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。

[身体：問 43，療育：問 41，精神等：問 43]

一人での避難の可否については、身体、精神等では「できる」が多く、それぞれ 41.2%、58.2%となっています。療育では「できない」が 45.1%と多くなっています。

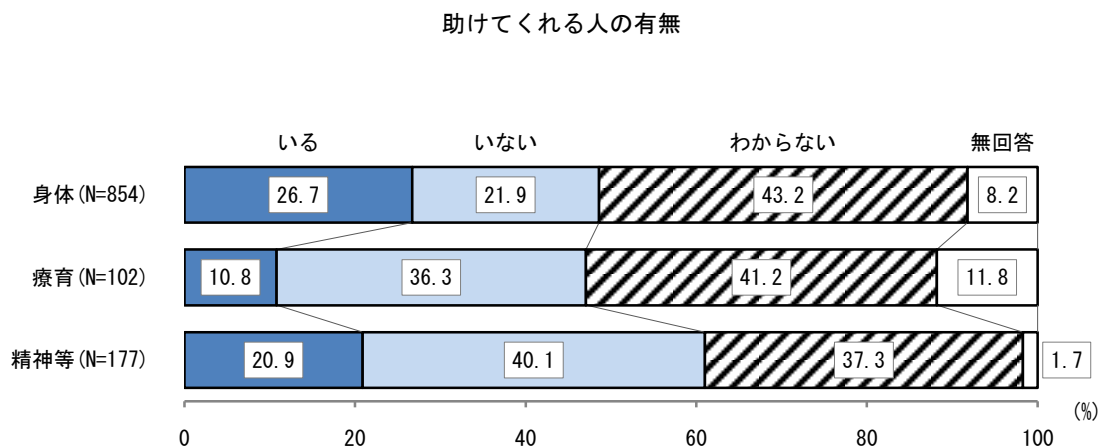


〔2〕助けてくれる人の有無

48 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。

[身体：問 44，療育：問 42，精神等：問 44]

助けてくれる人の有無については、いずれの調査対象でも「わからない」が約 4 割と多くなっています。一方、精神等では「いない」が最も多くなっています。



〔3〕災害時に困ること

49 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

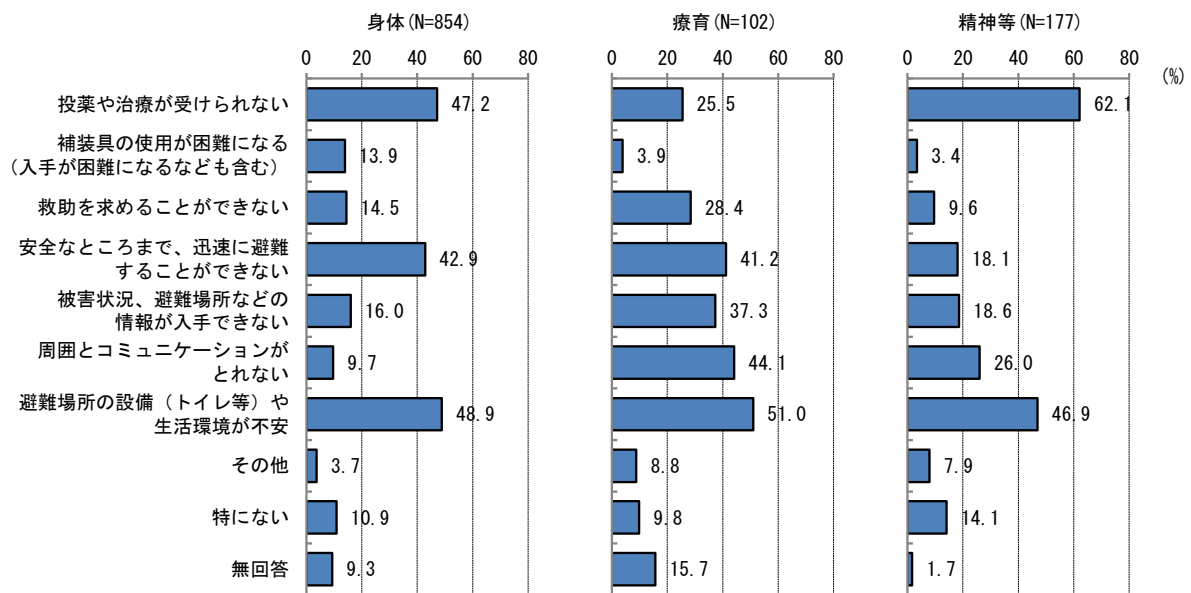
[身体：問 45, 療育：問 43, 精神等：問 45]

災害時に困ることについては、身体では「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が 48.9%と最も多く、次いで、「投薬や治療が受けられない」が 47.2%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が 42.9%となっています。

療育では「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が 51.0%と最も多く、次いで、「周囲とコミュニケーションがとれない」が 44.1%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が 41.2%となっています。

精神等では「投薬や治療が受けられない」が 62.1%と最も多く、次いで、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が 46.9%、「周囲とコミュニケーションがとれない」が 26.0%となっています。

災害時に困ること



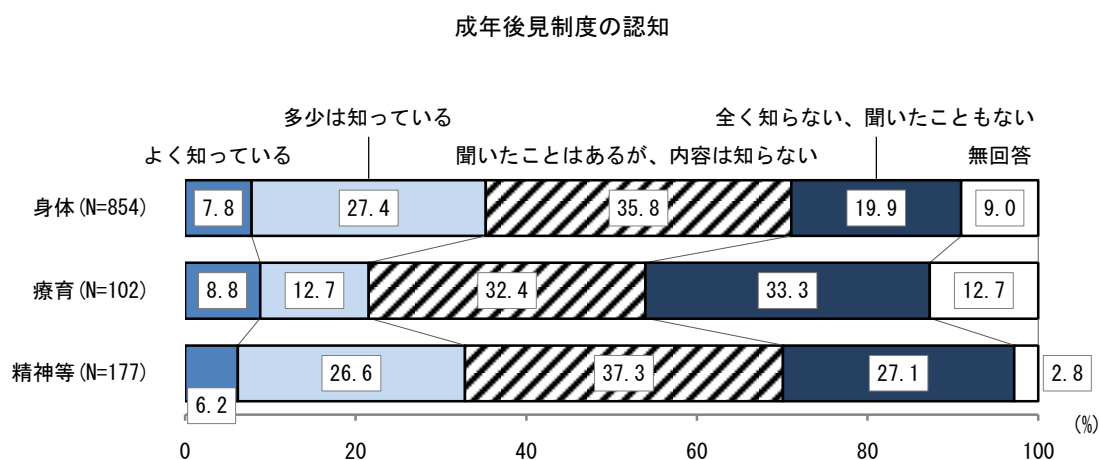
11 権利擁護等について

〔1〕成年後見制度の認知

50 成年後見制度について、ご存じですか。

[身体：問 46，療育：問 44，精神等：問 46]

成年後見制度の認知については、いずれの調査対象でも「よく知っている」と「多少は知っている」を合わせた『知っている』に比べて「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「全く知らない、聞いたことがない」を合わせた『知らない』が多くなっています。

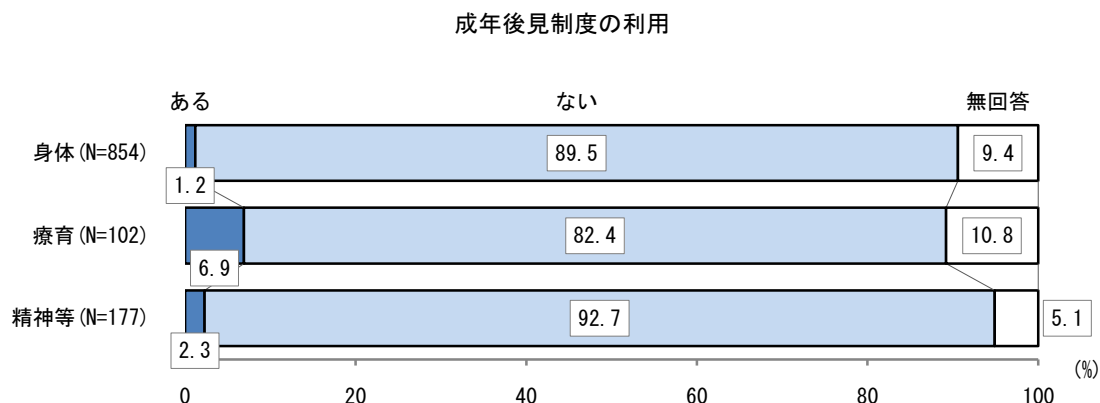


〔2〕成年後見制度の利用

51 成年後見制度を利用したことはありますか。

[身体：問 47，療育：問 45，精神等：問 47]

成年後見制度の利用については、「ある」は療育で6.9%と最も多く、次いで、精神等で2.3%、身体で1.2%となっています。



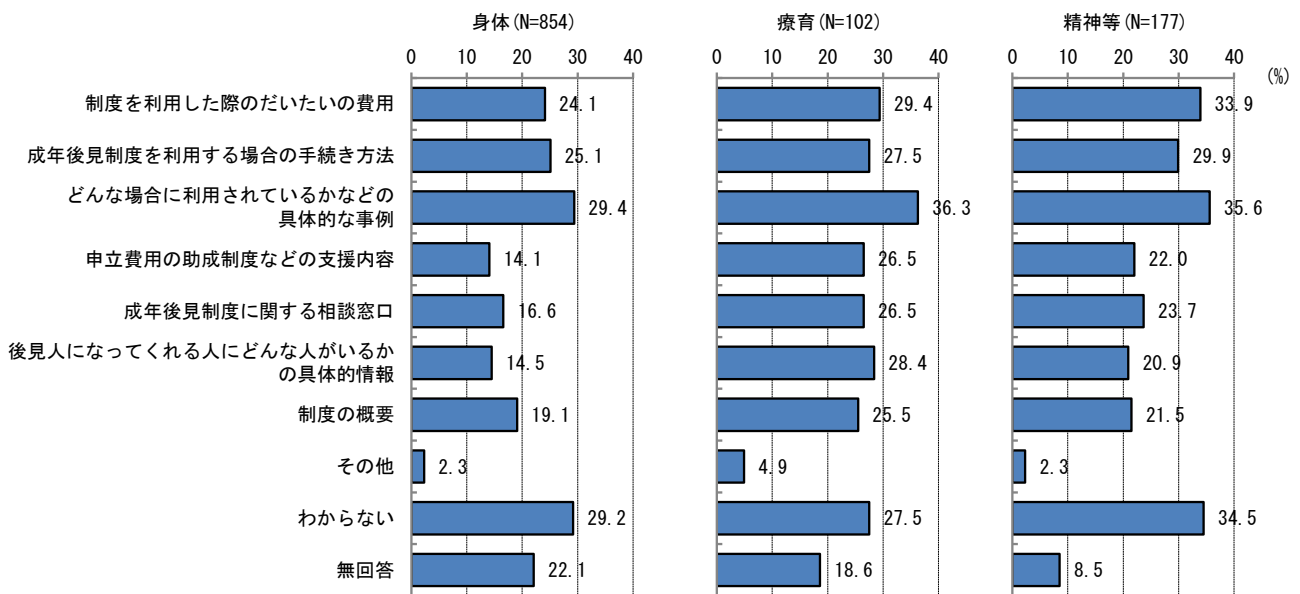
〔3〕 成年後見制度について必要な情報

52 成年後見制度に関して、どのような情報が提供されればよいと思いますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 48，療育：問 46，精神等：問 48]

成年後見制度について必要な情報については、いずれの調査対象でも、「どんな場合に利用されているかなどの具体的な事例」が最も多くなっています。次いで、身体では「成年後見制度を利用する場合の手続き方法」が 25.1%、「制度を利用した際のだいたいの費用」が 24.1%、療育では「制度を利用した際のだいたいの費用」が 29.4%、「後見人になってくれる人にどんな人があるかの具体的情報」が 28.4%、精神等では「制度を利用した際のだいたいの費用」が 33.9%、「成年後見制度を利用する場合の手続き方法」が 29.9%となっています。

成年後見制度について必要な情報

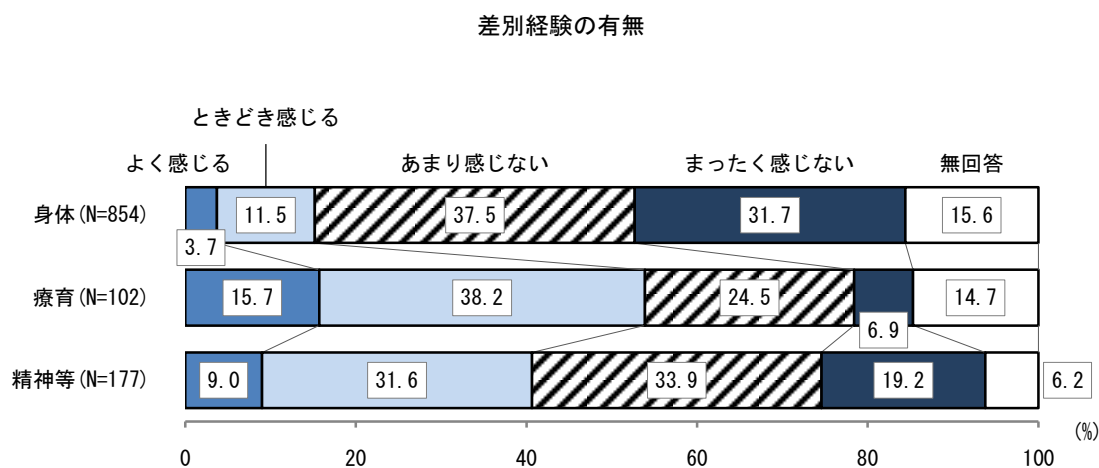


〔4〕 差別経験の有無

53 日常生活において、障がいがあるために差別や偏見、疎外感を感じることがありますか。
 当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 49，療育：問 47，精神等：問 49]

差別経験の有無については、「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせた『感じる』は、身体で15.2%、療育で53.9%、精神等で40.6%となっています。



〔5〕差別経験の内容

53-1 53 で「よく感じる」、「ときどき感じる」を選択した方におたずねします。どんなときにそれを感じますか。特に当てはまる番号に2つまで○をつけてください。

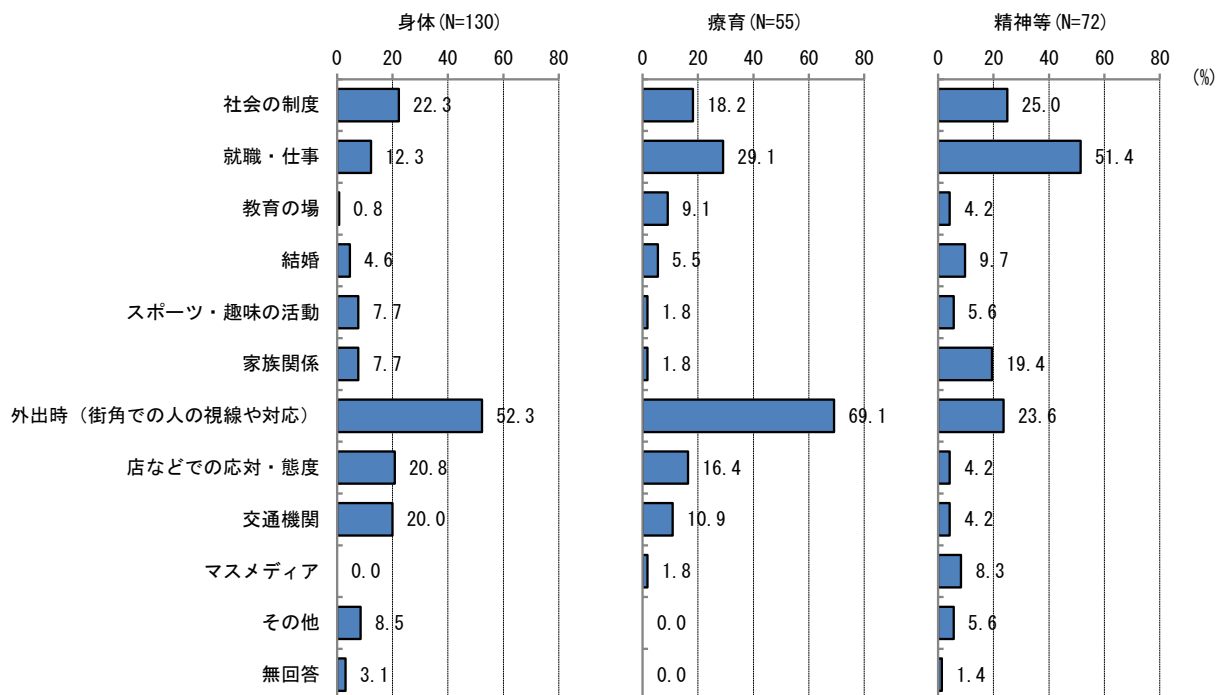
[身体：問 49-1，療育：問 47-1，精神等：問 49-1]

差別経験の内容については、身体では「外出時（街角での人の視線や対応）」が52.3%と最も多く、次いで、「社会の制度」が22.3%、「店などでの対応・態度」が20.8%となっています。

療育では「外出時（街角での人の視線や対応）」が69.1%と最も多く、次いで、「就職・仕事」が29.1%、「社会の制度」が18.2%となっています。

精神等では「就職・仕事」が51.4%と最も多く、次いで、「社会の制度」が25.0%、「外出時（街角での人の視線や対応）」が23.6%となっています。

差別経験の内容

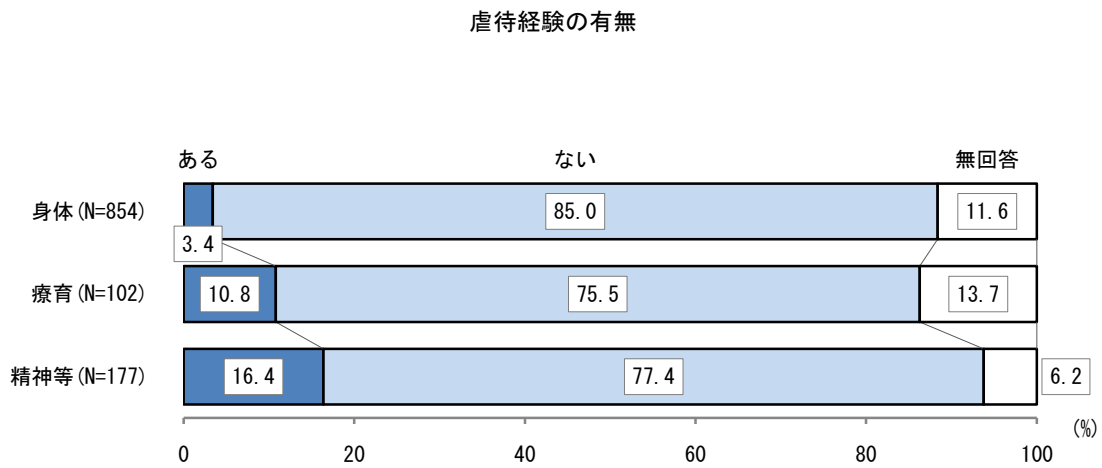


〔6〕虐待経験の有無

54 あなたは虐待されたことがありますか。

[身体：問 50，療育：問 48，精神等：問 50]

虐待経験の有無については、いずれの調査対象でも「ない」が多くなっていますが、「ある」は精神等で 16.4%と最も多くなっています。



〔7〕虐待を受けた場所

54-1 54 で「ある」を選択した方におたずねします。どこでされましたか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

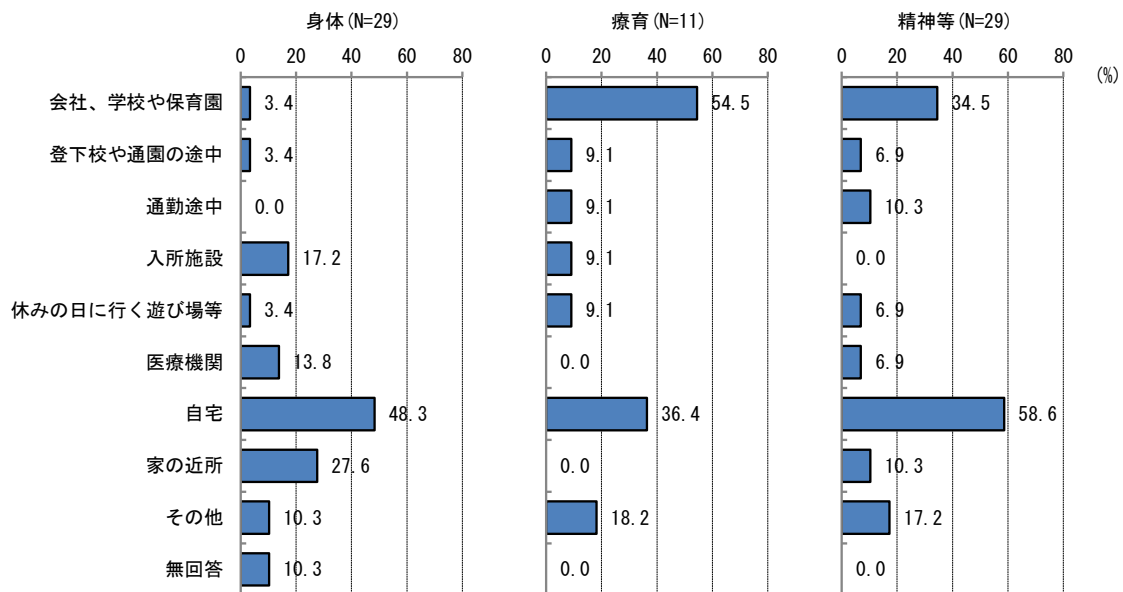
[身体：問 50-1，療育：問 48-1，精神等：問 50-1]

虐待を受けた場所については、身体では「自宅」が48.3%と最も多く、次いで、「家の近所」が27.6%となっています。

療育では「会社、学校や保育園」が54.5%と最も多く、次いで、「自宅」が36.4%となっています。

精神等では「自宅」が58.6%と最も多く、次いで、「会社、学校や保育園」が34.5%となっています。

虐待を受けた場所



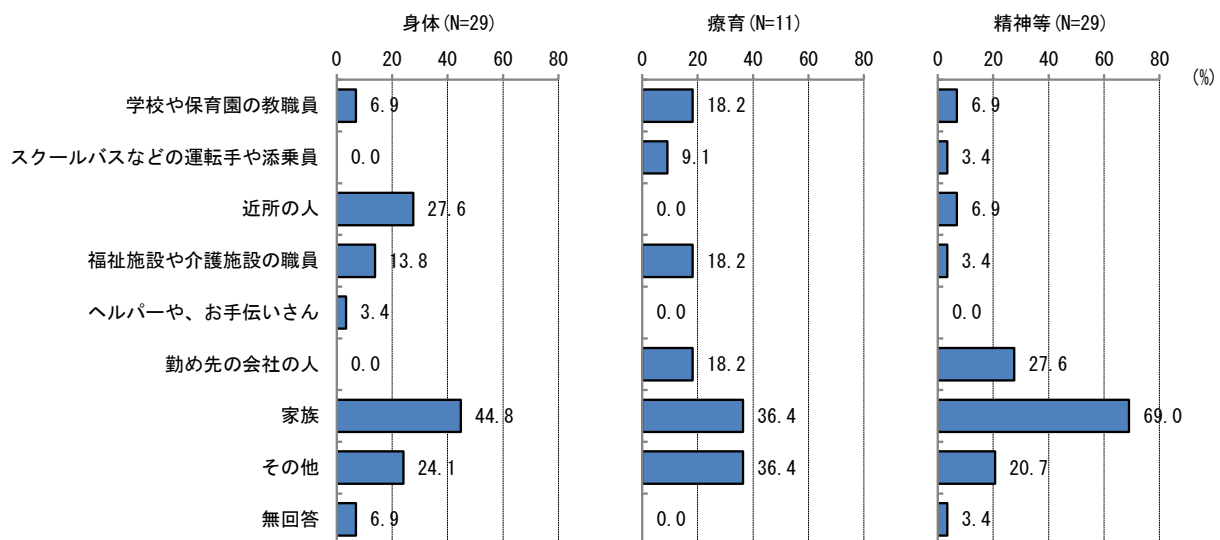
〔8〕虐待を受けた相手

54-2 54 で「ある」を選択した方におたずねします。誰にされましたか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 50-2，療育：問 48-2，精神等：問 50-2]

虐待を受けた相手については、いずれの調査対象でも「家族」が最も多くなっています。次いで、身体では「近所の人」が27.6%、「福祉施設や介護施設の職員」が13.8%、療育では「学校や保育園の教職員」、「福祉施設や介護施設の職員」、「勤め先の会社の人」がそれぞれ18.2%、精神等では「勤め先の会社の人」が27.6%、「学校や保育園の教職員」、「近所の人」がそれぞれ6.9%となっています。

虐待を受けた相手



〔9〕虐待の内容

54-3 54 で「ある」を選択した方におたずねします。どんなことをされましたか。当てはまる番号にいくつでも〇をつけてください。

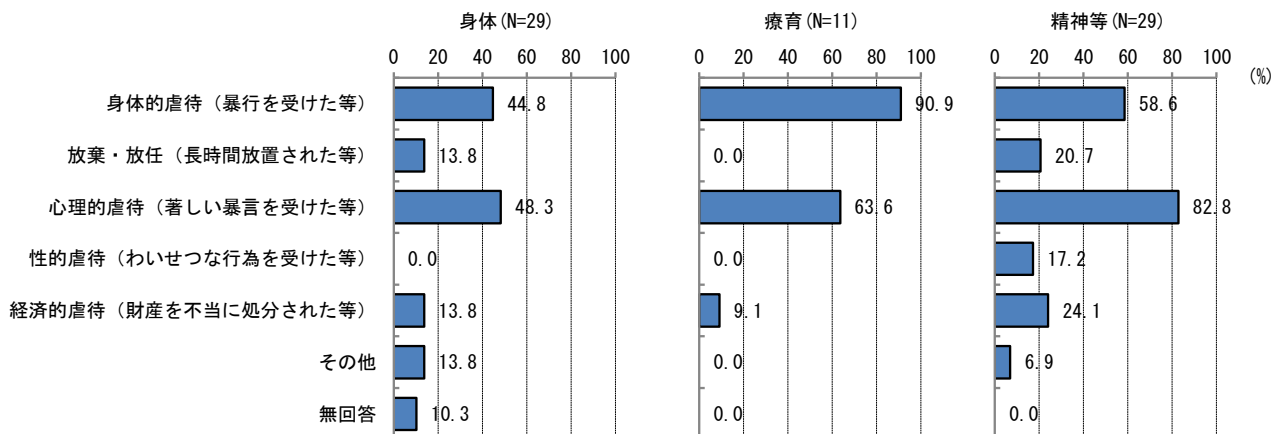
[身体：問 50-3，療育：問 48-3，精神等：問 50-3]

虐待の内容については、身体では「心理的虐待（著しい暴言を受けた等）」が 48.3%と最も多く、次いで、「身体的虐待（暴行を受けた等）」が 44.8%、「放棄・放任（長時間放置された等）」、「経済的虐待（財産を不当に処分された等）」がそれぞれ 13.8%となっています。

療育では「身体的虐待（暴行を受けた等）」が 90.9%と最も多く、次いで、「心理的虐待（著しい暴言を受けた等）」が 63.6%、「経済的虐待（財産を不当に処分された等）」が 9.1%となっています。

精神等では「心理的虐待（著しい暴言を受けた等）」が 82.8%と最も多く、次いで、「身体的虐待（暴行を受けた等）」が 58.6%、「経済的虐待（財産を不当に処分された等）」が 24.1%となっています。

虐待の内容



12 城陽市の福祉の環境について

〔1〕 今後重要な施策

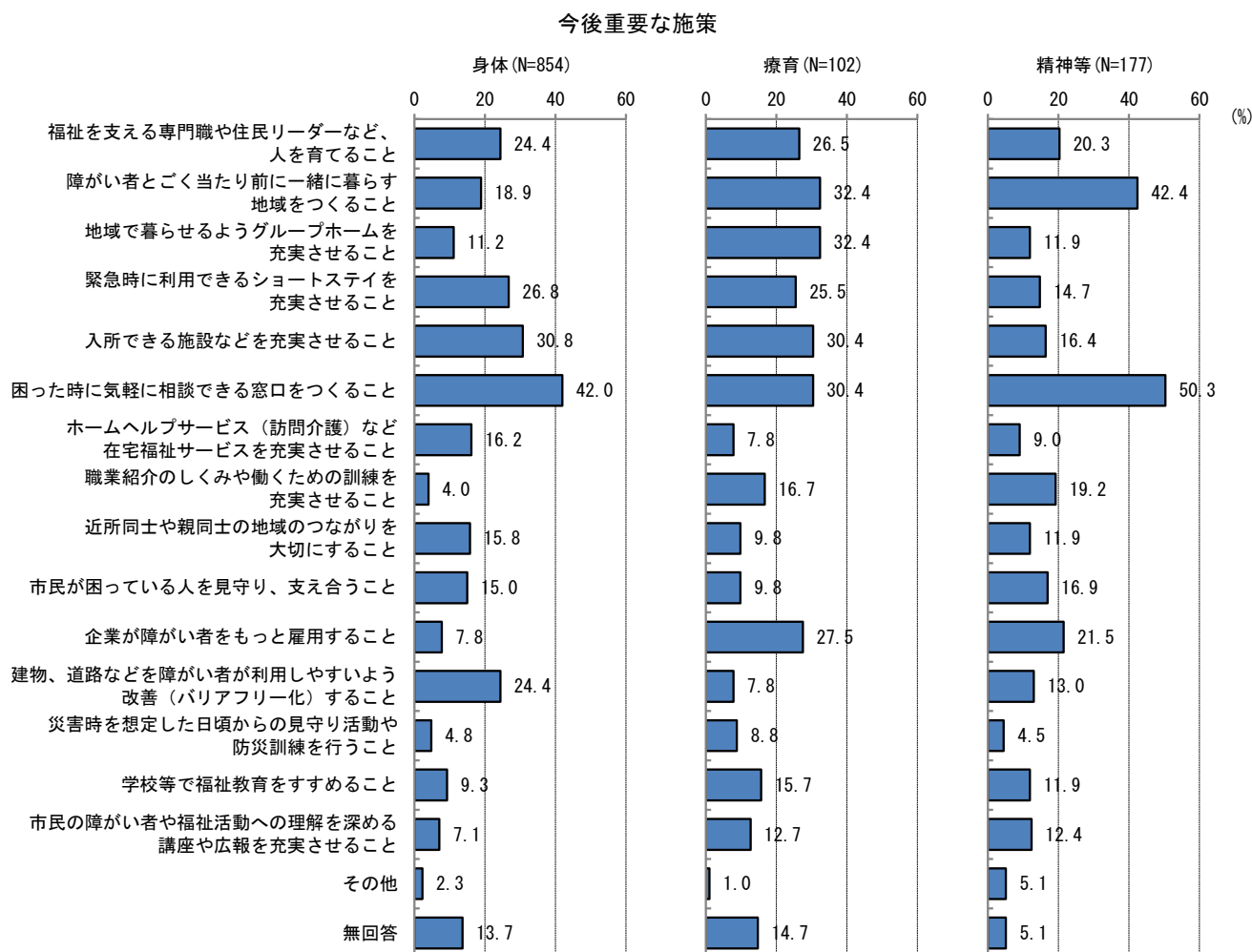
55 城陽市で、こころの病を抱えた方や障がい者が生活を送る上で重要と思われることは何ですか。特に当てはまる番号に4つまで○をつけてください。

[身体：問51，療育：問49，精神等：問51]

今後重要な施策については、身体では「困った時に気軽に相談できる窓口をつくること」が42.0%と最も多く、次いで、「入所できる施設などを充実させること」が30.8%、「緊急時に利用できるショートステイを充実させること」が26.8%となっています。

療育では「障がい者とごく当たり前に一緒に暮らす地域をつくること」、「地域で暮らせるようグループホームを充実させること」がそれぞれ32.4%と最も多く、次いで、「入所できる施設などを充実させること」、「困った時に気軽に相談できる窓口をつくること」がそれぞれ30.4%となっています。

精神等では「困った時に気軽に相談できる窓口をつくること」が50.3%と最も多く、次いで、「障がい者とごく当たり前に一緒に暮らす地域をつくること」が42.4%、「企業が障がい者をもっと雇用すること」が21.5%となっています。



13 介助者について

〔1〕 介助者の年齢

56 主な介助者の方におたずねします。主な介助者の方の年齢はいくつですか。

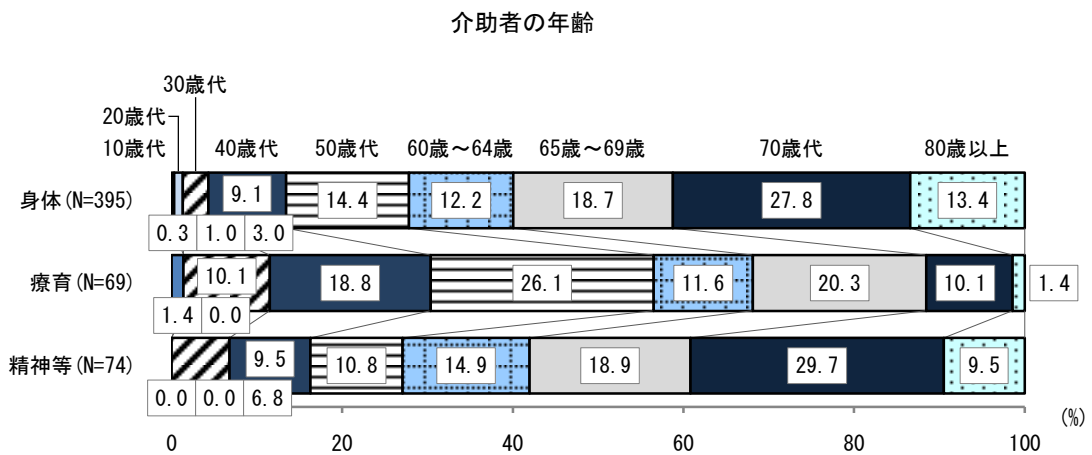
[身体：問 52，療育：問 50，精神等：問 52]

介助者の年齢については、身体では「70 歳代」が 27.8%と最も多く、次いで、「65 歳～69 歳」が 18.7%となっています。

療育では「50 歳代」が 26.1%と最も多く、次いで、「65 歳～69 歳」が 20.3%となっています。

精神等では「70 歳代」が 29.7%と最も多く、次いで、「65 歳～69 歳」が 18.9%となっています。

一方、「65 歳～69 歳」、「70 歳代」、「80 歳以上」を合わせた『65 歳以上』は、身体で 59.9%と最も多く、次いで、精神等で 58.1%、療育で 31.8%となっています。



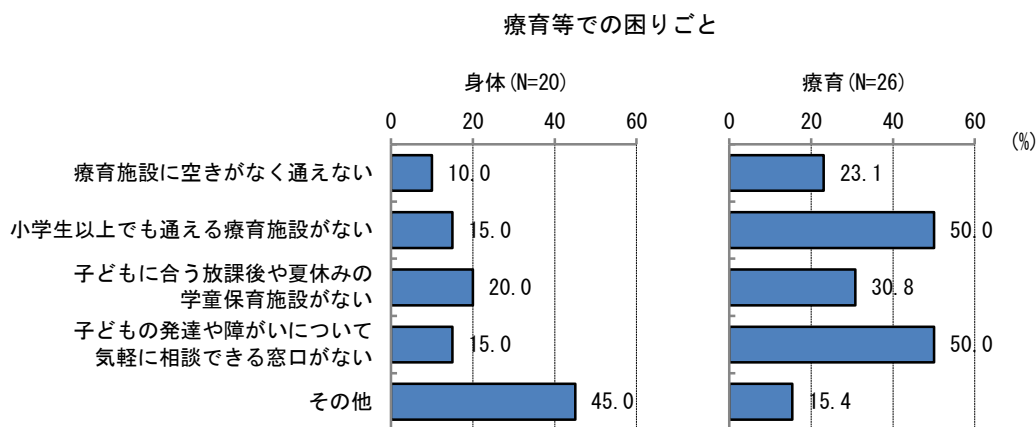
〔2〕療育等での困りごと

57 障がい児の保護者の方におたずねします。お子さんの療育及び保育で困っている事は何ですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 53, 療育：問 51]

療育等での困りごとについては、身体では「子どもに合う放課後や夏休みの学童保育施設がない」が20.0%と最も多く、次いで、「小学生以上でも通える療育施設がない」、「子どもの発達や障がいについて気軽に相談できる窓口がない」がそれぞれ15.0%となっています。

療育では「小学生以上でも通える療育施設がない」、「子どもの発達や障がいについて気軽に相談できる窓口がない」がそれぞれ50.0%と最も多く、次いで、「子どもに合う放課後や夏休みの学童保育施設がない」が30.8%となっています。

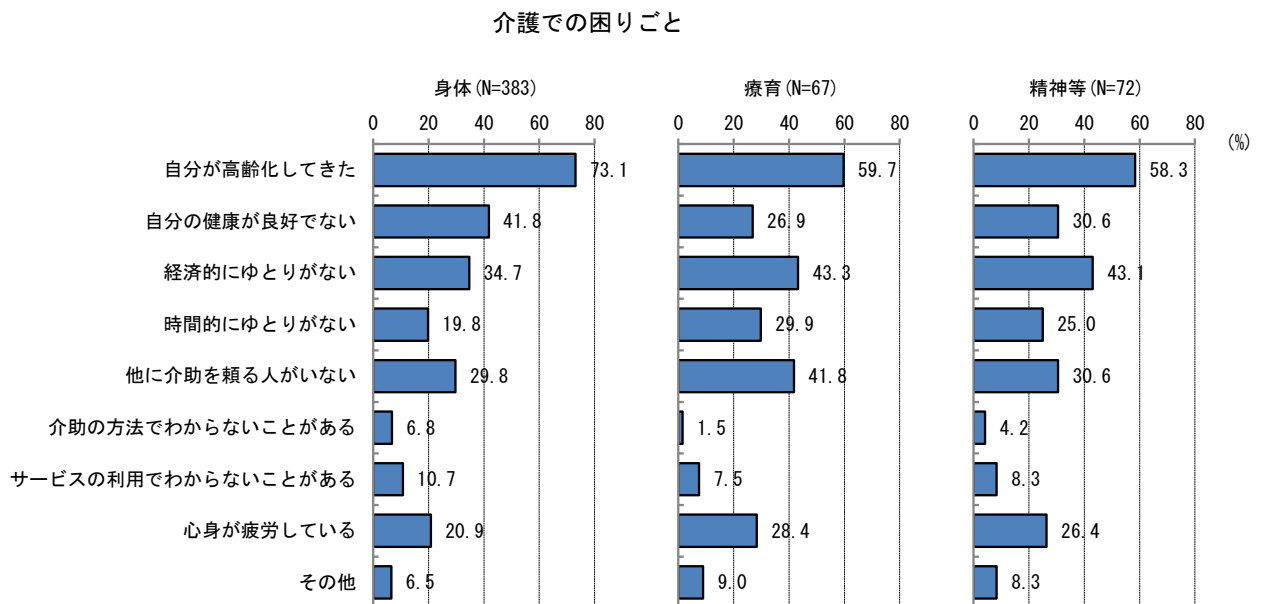


〔3〕介護での困りごと

58 主な介助者の方におたずねします。今困っていることは何ですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 54，療育：問 52，精神等：問 53]

介護での困りごとについては、いずれの調査対象でも、「自分が高齢化してきた」が最も多く、身体で73.1%、療育で59.7%、精神等で58.3%となっています。次いで、身体では「自分の健康が良好でない」が41.8%、「経済的にゆとりがない」が34.7%、療育では「経済的にゆとりがない」が43.3%、「他に介助を頼る人がいない」が41.8%、精神等では「経済的にゆとりがない」が43.1%、「自分の健康が良好でない」、「他に介助を頼る人がいない」がそれぞれ30.6%となっています。



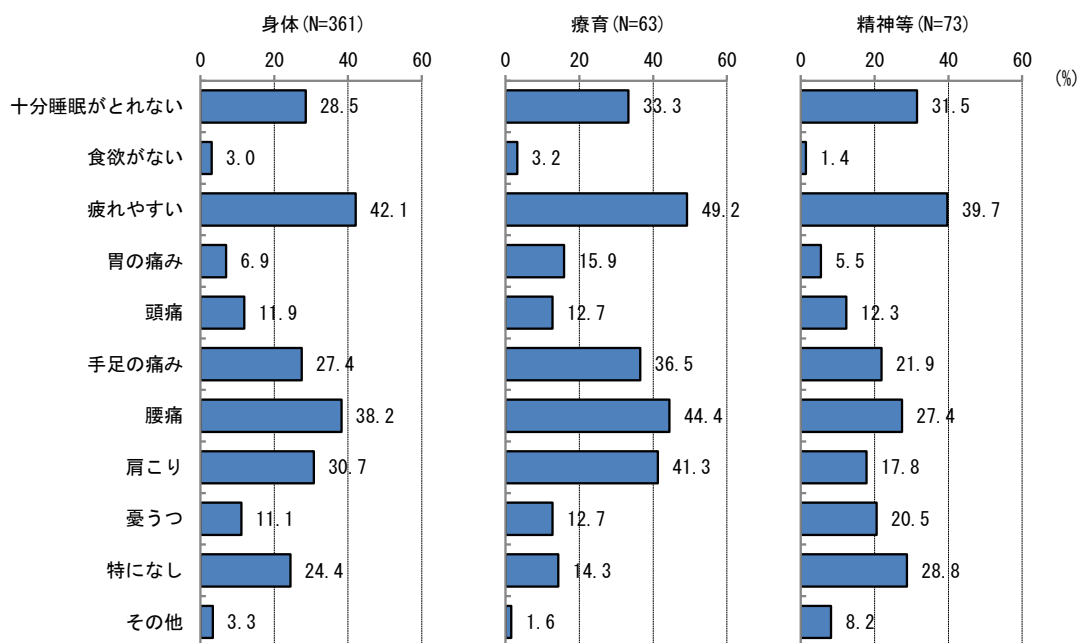
〔4〕 介助者の健康状態

59 主な介助者の方におたずねします。あなた（介助者）が日常的に感じる不調について、当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 55，療育：問 53，精神等：問 54]

介助者の健康状態については、いずれの調査対象でも「疲れやすい」が約 4 割と最も多く、次いで、身体では「腰痛」が 38.2%、「肩こり」が 30.7%、療育は「腰痛」が 44.4%、「肩こり」が 41.3%、精神等では「十分睡眠がとれない」が 31.5%、「腰痛」が 27.4%となっています。

介助者の健康状態



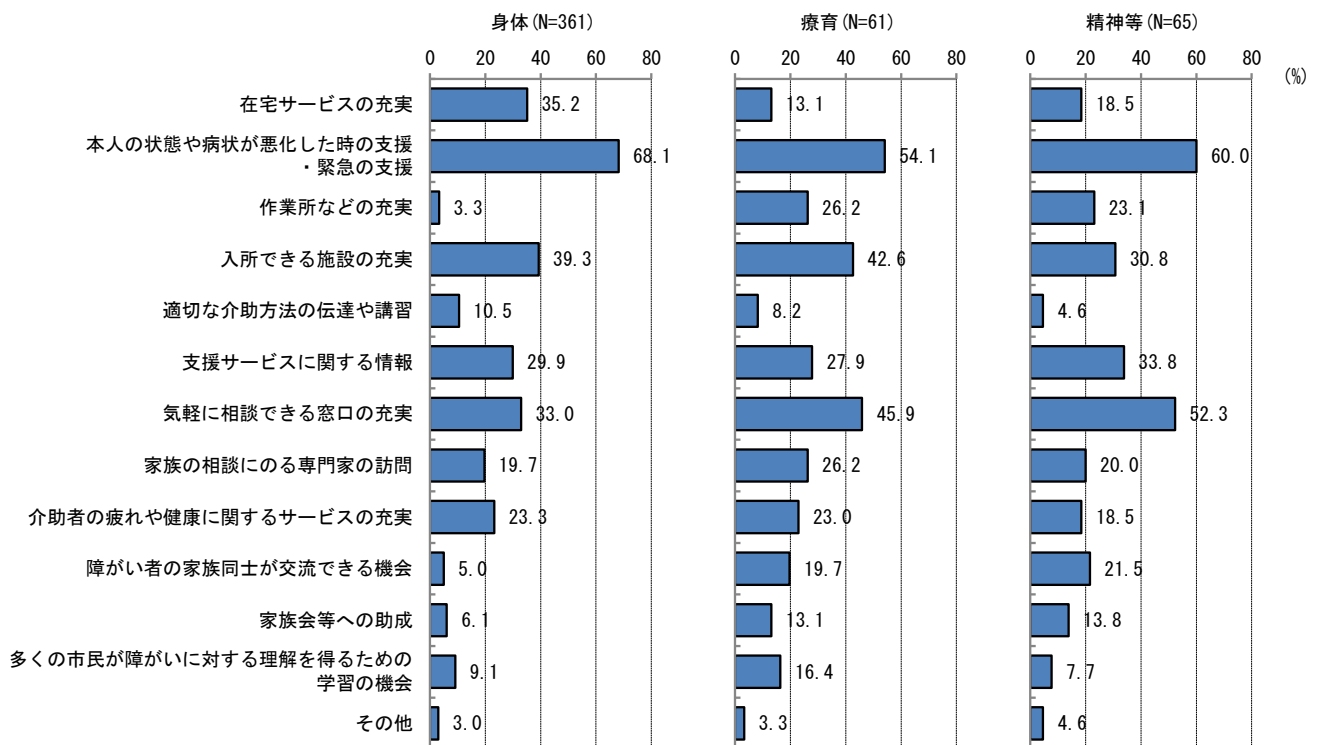
〔5〕 介助者に必要な支援

60 主な介助者の方におたずねします。介助者にとってどのような支援が必要だと思いますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 56，療育：問 54，精神等：問 55]

介助者に必要な支援については、いずれの調査対象でも「本人の状態や病状が悪化した時の支援・緊急の支援」が最も多くなっています。次いで、身体では「入所できる施設の充実」が39.3%、「在宅サービスの充実」が35.2%、療育では「気軽に相談できる窓口の充実」が45.9%、「入所できる施設の充実」が42.6%、精神等では「気軽に相談できる窓口の充実」が52.3%、「入所できる施設の充実」が30.8%となっています。

介助者に必要な支援



城陽市障がい福祉に関する
市民アンケート調査結果報告書

城陽市 福祉保健部

平成 29 年(2017 年) 7 月 発行

〒610-0195 城陽市寺田東ノ口 16 番地、17 番地

電話 0774-56-4033
